

# 2021

## MAEDA ROAD SUSTAINABILITY REPORT



前田道路株式会社



本 店 〒141-8665 東京都品川区大崎1-11-3	Tel. 03 (5487) 0011	中部支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5-25-25 MKD名古屋ビル	Tel. 052 (262) 1320
技術研究所 〒300-4111 土浦市大畑208	Tel. 029 (833) 4311	関西支店 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-5-30 MKD-10大阪ビル	Tel. 06 (6253) 7501
北海道支店 〒060-0042 札幌市中央区大通西10-4-16 ダンロップSKビル	Tel. 011 (777) 5555	中国支店 〒730-0045 広島市中区鶴見町4-22 MKD-1ビル	Tel. 082 (246) 4422
東北支店 〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-4-3	Tel. 022 (265) 1151	九州支店 〒812-0007 福岡市博多区東比恵4-2-10 東比恵ビジネスセンターⅢ	Tel. 092 (411) 9421
北関東支店 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-11ビル	Tel. 048 (643) 3641	北陸支店 〒950-0916 新潟市中央区米山3-2-11 新潟米山MKD-5ビル	Tel. 025 (241) 0460
東京支店 〒108-8643 東京都港区白金台5-22-12 前田道路白金ビル	Tel. 03 (3448) 2231	四国支店 〒760-0050 高松市亀井町7-15 セントラル第一ビル	Tel. 087 (862) 1780
西関東支店 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12-5 下山関内ビル	Tel. 045 (662) 4121		



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



みんなでシェアして、  
低炭素社会へ。



この印刷物の本文用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。



前田道路株式会社

# 顧客のニーズに応え、 人と環境にやさしい道づくり



## 発行目的

より豊かで快適な社会づくりへの貢献を続けるために、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションが大切であると考えます。創立100周年にむけて、今年から冊子の名称を「サステナビリティレポート」に変更しました。これは、当社のCSRならびに事業活動は、例えばSDGsへの取り組みなどを通じて、サステナブルな社会の実現をめざすものであるという意志を明確に表したものです。当社が果たすべき社会的責任を明確にするために当社の活動について本レポートを通じてご報告いたします。

報告対象組織 前田道路株式会社  
 報告対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日  
 (当該年度以外の内容も一部掲載しています)

## 見直しに関する注意事項

本レポートは、前田道路株式会社の過去と現在の事実だけでなく、発行時点における計画や見直しに基づく将来予測が含まれています。この将来予測は、記述した時点で入手できた情報に基づく仮定なし判断です。さまざまな要因によって将来の事業活動の結果や事象が予測と異なる可能性があります。ステークホルダーの皆様には、以上をご了承いただきますようお願い申し上げます。

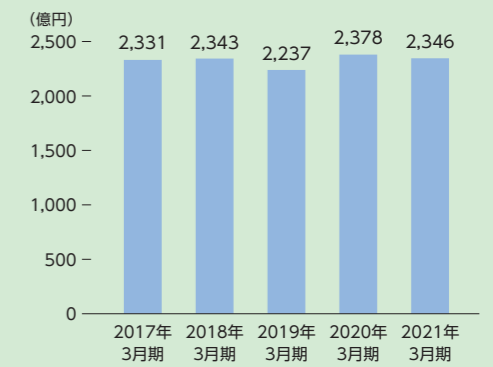
根田茂地区舗装工事(岩手県)

## CONTENTS

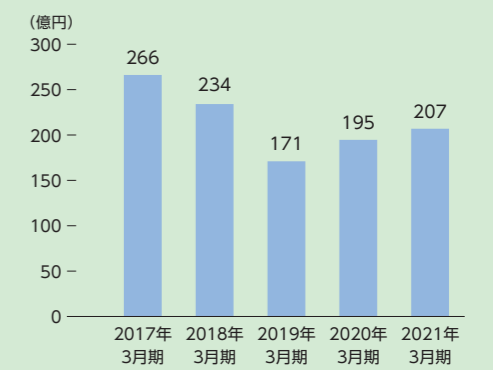
トップメッセージ	4
前田道路の事業フィールド	6
<b>前田道路のCSR</b>	
前田道路CSR理念体系図	8
CSRマネジメント	10
<b>信頼される企業であるために</b>	
コーポレート・ガバナンス	14
コンプライアンス	16
リスクマネジメント	17
<b>持続可能な地球環境のために</b>	
環境理念	20
実績と評価	20
環境配慮・持続型技術	21
気候変動への対応	23
循環型社会の構築	24
事業における環境負荷の低減	26
<b>持続可能な事業を展開していくために</b>	
ICTなど技術開発によるイノベーション	28
<b>地域社会との共生のために</b>	
特集「まえたパーク・まえたTEQ」完成	30
<b>従業員の活躍を支えるために</b>	
ワークライフバランスへの取り組み	34
健康経営	36
人材育成	37
多様な人材の活躍推進	39
<b>CSR資料集</b>	
環境	40
社会	41
ガバナンス	41
<b>会社概要</b>	42
<b>第三者意見</b>	43

## 経営の指標(連結)

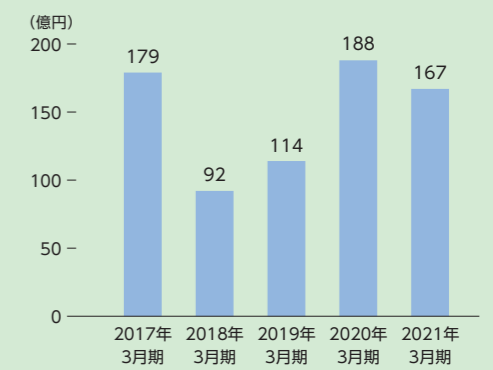
### 売上高



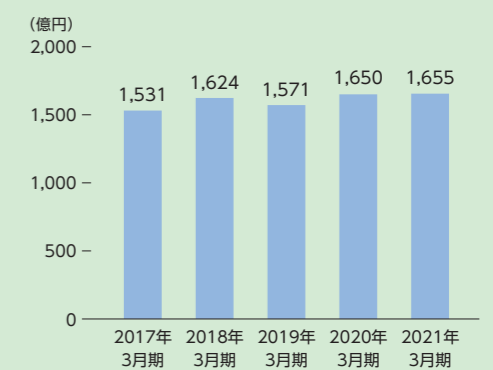
### 営業利益



### 純利益



### 受注工事高



## 予測不能な時代を切り開き、 より良い社会の構築を目指す



2020年は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、私たちの生活、社会、経済活動が大きく変化した一年でした。ここで、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様には謹んでお悔やみ申し上げます。また、医療関係者をはじめ感染症対策にご尽力いただいているすべての皆様に感謝申し上げます。

### 2030年、創立100周年に向けて

前田道路は、このような不確実で先行きの見通しが難しい混沌とした時代において、2030年の創立100周年を一つの目標とし、ステークホルダーの皆様と共に持続的な成長を遂げるための中期経営計画「HOP2021-2023」を策定いたしました。その中で定めた重点施策「体質改善」「生産性改革」「新たな収益基盤の確立」に、「環境」「社会」「経済」を統合させることで持続可能な社会（より良い社会）の構築を具体的に推進してまいります。

### 事業と融合した前田道路のサステナビリティ

特に注力するのは、世界が直面する喫緊の課題である気候変動への対応です。

前田道路は、「気候変動イニシアティブ（JCI）」に参加し、655の企業・自治体・団体などと共にこの問題に積極的に取り組んでおります。

脱炭素化に向けては、当社のCO<sub>2</sub>排出量の約75%がアスファルト合材製造過程で排出されていることから、従来に比べ30℃低い温度でアスファルト合材を製造し、舗装工事においても30℃低い温度で施工することでCO<sub>2</sub>排出量の抑制を実現する、フォームドアスファルト技術を舗装業界に先駆けて導入いたしました。現在、全国に約100カ所あるアスファルト合材工場への導入を進めております。

また、今後より深刻さが増すと予想される人手不足への対応の強化を図ります。併せて、採用の強化をはじめ、人材育成に注力するとともに、ES調査や自己申告制度にて社員満足度の向上および意向のくみ取りに努め、離職率の低下を図ります。

働き方の改革としては、長時間労働の是正の実現に向け、ICTを活用した生産性向上を図るため、全社員を対象にしたアンケート調査を実施し、現場で真に必要なとされるさまざまなITツールの開発を進めております。

なお、当社の建機搭載型出来形管理システムは、建設現場の生産性の飛躍的な向上および省人化に寄与したことから、「令和2年度 i-Construction 大賞（優秀賞）」を舗装業界で初めて受賞いたしました。

### 持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速する

国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）達成のためには、SDGsが掲げる17の目標の一部だけを実行するのではなく、すべての項目に対して一つずつ関与を深め、納得できる目標レベルを達成していくことが、他社との差別化に繋がるものと考えます。

今後も、社会からの期待・要請に真摯に向き合いながら、社会インフラを担う企業としての使命を全うするとともに、持続可能な社会（より良い社会）の構築に向け、定めた目標に対するアクションプランを策定し、グループ一丸となって取り組むことで地域社会の豊かな生活の向上に貢献してまいります。

2021年9月  
前田道路株式会社  
代表取締役社長  
今泉 保彦

# 前田道路の事業フィールド

前田道路は社会資本の整備と地域社会の豊かな生活に貢献するため、90年以上にわたり道づくりを続けてきました。人や車の往來の安全を守る。地域に根づいた文化や景観に寄り添う。そして地球環境への負荷を軽減する。私たちは事業活動を通して、人がいきる環境の維持・改善に徹底して取り組んでいます。



## 1 アスファルト合材工場・破砕工場

アスファルト合材工場では製品の製造・販売、破砕工場では建設副産物のリサイクルを推進しています。



名古屋合材工場 (愛知県) 船橋合材工場 (千葉県)

→ 建設副産物のリサイクルの取り組みは24ページ

## 2 全天候型高耐久常温合材「マイルドパッチ」

駐車場などにできたポットホールに投入し、水をかけて締め固めることで補修できる袋詰め常温アスファルト合材です。



「マイルドパッチ」 海外版「AQUA PATCH」

## 3 段差修正材「スマートパッチ」

コテのみで手軽に施工可能な高耐久の段差修正材で、駅のプラットホームの段差解消などに最適です。はさみなどを使用せず、ワンプッシュで樹脂を粉体に投入できるよう改良し、使いやすくなりました。



「スマートパッチ」

## 4 クラック注入材「スーパー MD シール」

主剤と硬化剤を混合し、常温で早期に硬化するひび割れ補修材で、道路のひび割れに注入して使用します。主剤と硬化剤をワンプッシュで混合できるように改良しました。



「スーパー MD シール」

## 5 高速道路・一般道路舗装

高速道路や一般道路などの工事において、高品質かつ最新の技術でニーズに応えます。



東名高速道路 富士管内 (静岡県) 国道57号 (熊本県)

## 6 民間工事

全国ネットワークで、駐車場や店舗など、身近な工事のお手伝いをしています。



駐車場舗装工事

## 7 空港・港湾

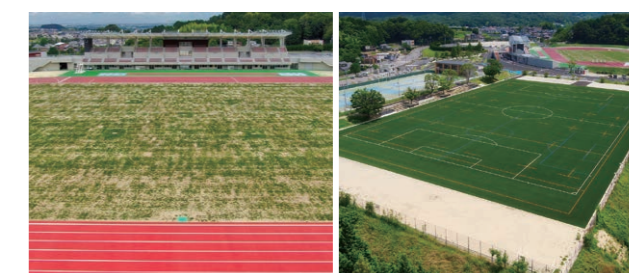
運航への影響を最小限に抑えるべく、迅速さが要求される空港・港湾工事でも高品質な工事を行います。



大分空港 (大分県) 八尾空港 (大阪府)

## 8 スポーツ・レジャー施設

道づくりで培った技術を活用し、テニスコートやサッカー場などの工事を行います。

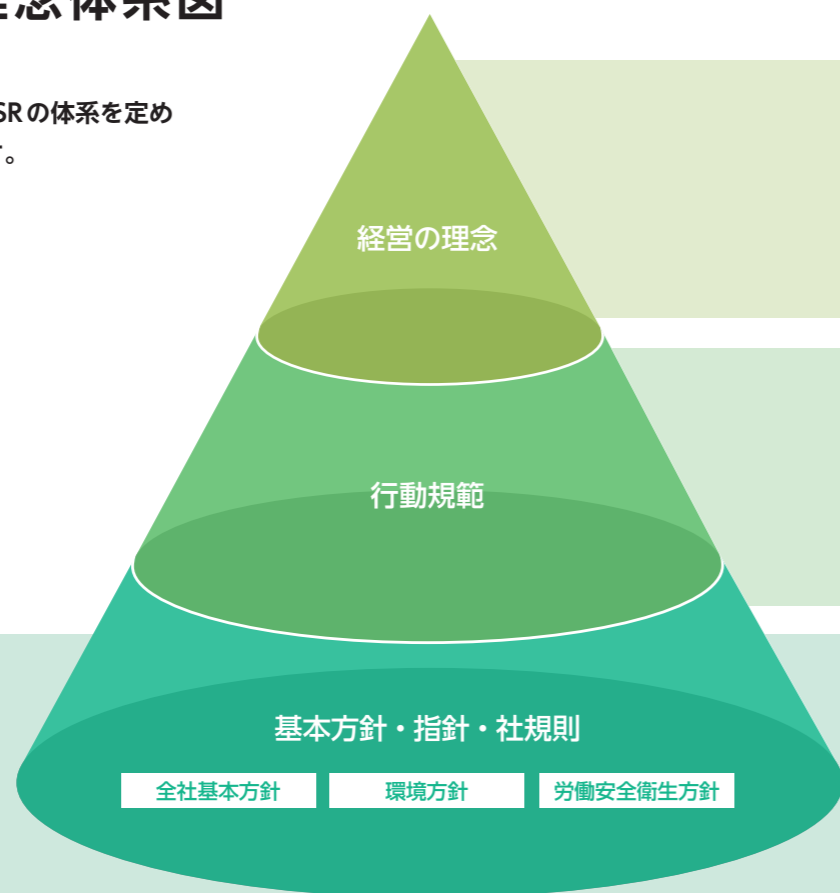


岡崎市龍北総合運動場 (愛知県)

# 前田道路のCSR

## 前田道路CSR理念体系図

当社は、経営の理念に基づいてCSRの体系を定めCSRを着実に推進してまいります。



### 経営の理念



当社は、ひろく社会資本の整備に貢献し、地域社会の豊かな生活の向上に寄与することを企業活動の使命と自覚します。

信義・誠実の原則のもと誇りと責任をもって、人と環境を大切にしたい事業活動を推進し安全を第一として、より優れた技術と品質の提供により快適で潤いのある生活空間の創造を目指し、豊かな地域社会の発展に貢献します。

### 行動規範



当社は、「企業活動を通じて健全な成長と豊かな地域社会の発展に貢献するため、相互の信頼に立脚し、信義にもとづき、誠実に行動する」ことを行動規範として定め、全役職員が推進します。

### 基本方針・指針・社規則



当社は、行動規範の具体的な取り組みを、基本方針・指針・社規則に定め、品質向上や環境へ配慮し、人と環境を大切にする事業活動を実践します。

### 全社基本方針

顧客のニーズに応え、  
人と環境にやさしい道づくりを基本とし、  
顧客と地域社会に信頼感・安心感・満足感を  
与える品質を提供する。

上記方針を確実にするための優先項目

- 1 労働安全衛生活動の推進と、地球環境の保全に努めます。
- 2 品質と顧客満足の上昇のために、マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 3 法令・規制、倫理規範を遵守した企業活動により、社会的責任を果たします。

### 環境方針

当社は、「舗装及び土木構造物の施工並びに合材及び再生材の製造」活動において、環境マネジメントシステムを効果的に運用し、継続的改善を行い、地球環境および社会・生活環境の保全に積極的に取り組みます。

- 1 事業活動の全段階において、地球環境および地域環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経営的に可能な範囲で、環境保全活動の継続的な改善向上を推進します。
- 2 地球温暖化、酸性雨、廃棄物等の環境問題を解決するために、環境保全、省エネルギー、省資源、リサイクルを可能とする技術および製品の開発に積極的に取り組みます。
- 3 環境関連の法律、規制、協定の要求事項を遵守するに止まらず、さらに自主基準を制定し環境保全の向上に努めます。
- 4 環境教育、啓蒙活動などを実施し、全従業員および協力業者へ環境方針の周知と環境に関する意識向上を図ります。
- 5 これらを推進するため、すべての組織および従業員が活動できる環境管理組織を整備します。

→ 環境に関する取り組みは20ページ

### 労働安全衛生方針

当社は、「経営の理念」「全社基本方針」に基づき、道路および土木構造物の施工ならびにアスファルト合材の製造の事業活動において、労働安全衛生マネジメントシステムを効果的に運用し、継続的改善を行い、災害・事故防止と健康維持のために全員で積極的に取り組みます。

- 1 災害・事故防止と健康維持のために、次の事項を重点項目と定め、P・D・C・Aのサイクルを効果的に運用し、労働安全衛生パフォーマンスの改善を行います。
  - ① 重大災害の撲滅
  - ② 交通事故の撲滅
  - ③ 長時間労働の撲滅と作業環境の向上
  - ④ 危険性、有害性の調査による潜在的な事故防止
  - ⑤ ヒヤリハットの情報収集による、予防型の安全活動
- 2 労働安全衛生に関連する法規制、協定、業界の規範、当社で定めた規則を遵守します。
- 3 当社は従業員およびすべての要員にこの方針を周知徹底し、労働安全衛生マネジメントのプログラム運用のための教育・訓練を実施し、パフォーマンスの改善に寄与します。

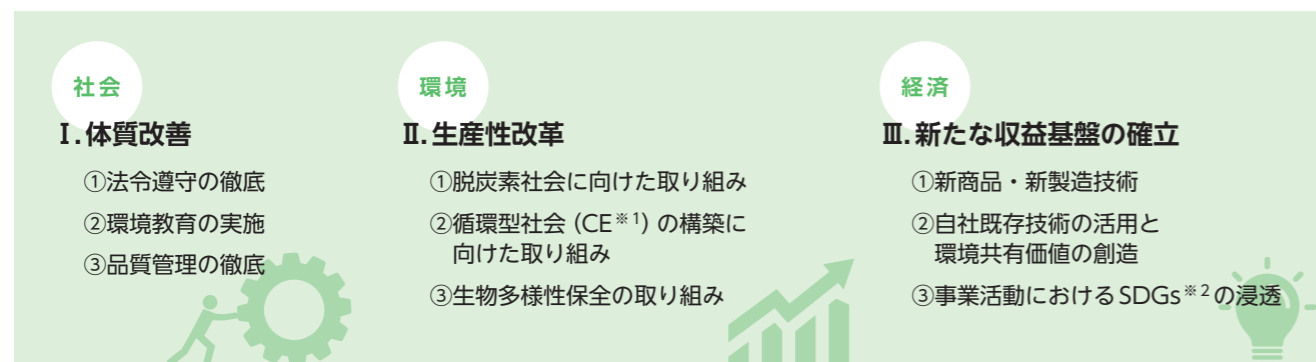
→ 労働安全衛生活動の報告は12ページ

## CSRマネジメント

当社では、CSRに関する課題、取り組み方針などは、各担当委員会において議論され、全社としてCSR活動を推進しています。「遵法」と「安全」を最優先課題とし、リスクマネジメントを徹底した事業活動を通じ、企業の社会的責任を果たします。

### 中期CSR・環境計画

中期経営計画に基づいたCSR・環境計画を策定し、中期経営計画の重点施策である「体質改善」「生産性改革」「新たな収益基盤の確立」を軸に「環境」「社会」「経済」を統合させサステナブルな社会（より良い社会）の構築を推進していくという基本方針のもと、実施項目を次のように設定しました。

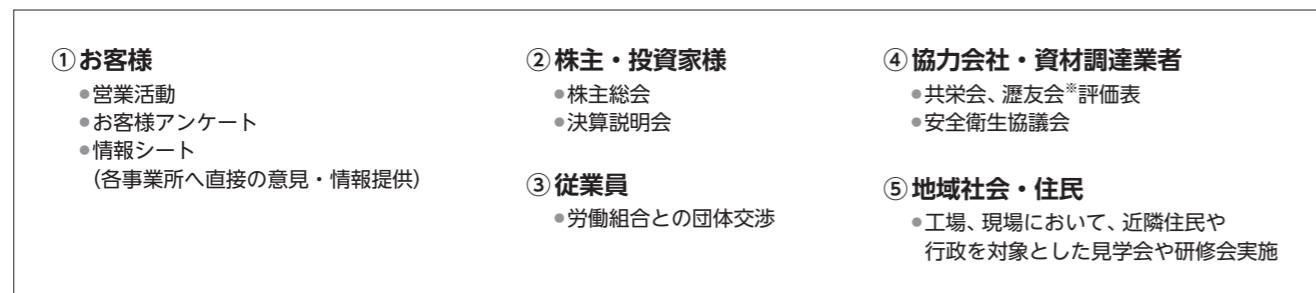


持続型社会・経営の実現に向け、実施項目については今後の社会情勢の変化や取り組みの進捗、ステークホルダーからのご意見を踏まえて継続的に見直していきます。

\*1 CE (サーキュラー・エコノミー): 資源循環の効率化だけでなく、原材料に依存せず、既存の製品や遊休資産の活用などによって価値創造の最大化を図るというEUで提唱された経済システム  
 \*2 SDGs (Sustainable Development Goals): 国連加盟193カ国が2016～2030年の15年間で地球規模の問題を解決するために掲げた国際目標。17の目標と169のターゲットで構成される

### ステークホルダーエンゲージメント

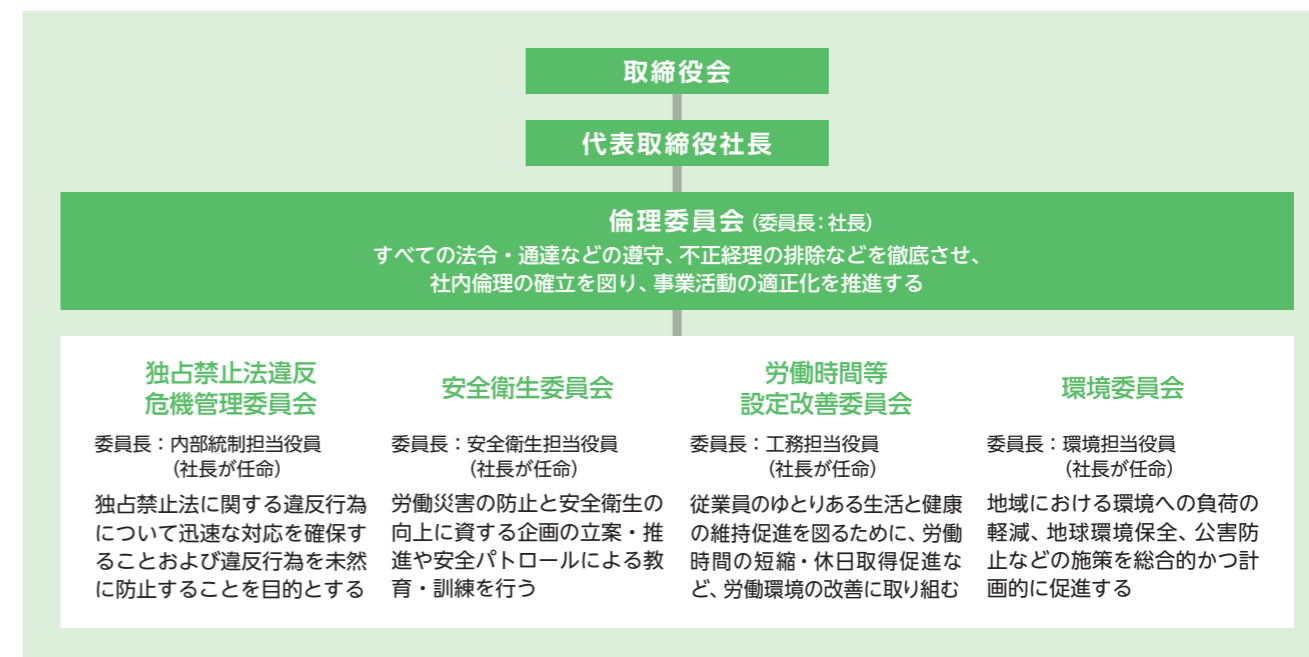
当社は、ステークホルダー（利害関係者）と良好な関係を築いていくため、ステークホルダーからのご意見・ご要望を把握し、可能な範囲で事業活動に反映させ、取り組んでいます。ステークホルダーと当社が、双方向で対話する手法は、次の通りです。



当社HP内のお問い合わせフォームからのご意見につきましても内容を確認の上、事案により管轄部門で対応しています。

\*共栄会、瀝友会：当社の依頼業務を主体として協力し、会員要件を満たす協力会社。工事部門は共栄会、製造部門は瀝友会

### CSR推進体制



### マネジメントシステムの推進

人と環境にやさしい事業活動を目指し、産業廃棄物の循環をはじめ、資源・エネルギー問題における環境保全活動を事業活動のあらゆる場面で取り入れながら、持続可能な社会構築に向けて取り組んでいます。

当社のマネジメントシステム ※2020年9月のサーベイランスで、本店および全支店で認証を維持しています。

	適用範囲	適用部署
環境マネジメントシステム (ISO14001)	舗装及び土木構造物の施工並びに合材及び再生材の製造	一部のJV事業を除くすべての部署
品質マネジメントシステム (ISO9001)	公共工事における舗装及び土木構造物の設計及び施工	営業所、作業所、工務部、技術部、営業部(支店) 工事事業本部、第一営業部、PPP・PFI事業部、CSR・環境部(本店)
労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001)	舗装及び土木構造物の施工並びに合材及び再生材の製造	一部のJV事業を除くすべての部署

### 気候変動イニシアティブに参加

世界の平均気温は工業化以前の水準(1850～1900年の平均)に比べ既に1.1℃上昇しました。日本の平均気温の上昇は世界平均よりも早く進行しており、1998年から2019年の間に100年あたり1.24℃の割合で上昇しています。地球温暖化による気候変動は、日本国内では、真夏日、猛暑日、熱帯夜などの日数が増加する一方、冬日の日数は減少しています。また、大雨や短時間強雨の発生頻度が増加し人的・物的被害は年々深刻化しており、社会生活に多大な影響をもたらしています。2015年のCOP21「国連気候変動枠組条約第21回締約国会議」において「工業化以前と比べた世界全体の平均気温の上昇を2℃よりも十分低く保つとともに、1.5℃までに抑える努力を追求すること」を世界共通の長期目標とする「パリ協定」が採択され、2020年以降の枠組みが構築されました。

そのような中、当社は「気候変動イニシアティブ (Japan Climate Initiative)」に参加し、パリ協定を実現する野心的な2030年目標(「45%を超え、50%削減へのチャレンジ」)を日本政府に求めるJCIメッセージ(当社HP参照)に賛同しました。その後、2021年4月の気候変動に関する首脳会議では、我が国もCO<sub>2</sub>排出削減目標を2030年度に2013年度比26%削減から46%削減まで削減目標を高めることを表明しました。

# 前田道路のCSR

## CSRマネジメント

### 環境マネジメントシステム (ISO14001)

環境マネジメントシステムの活動として、各部署において年度初めに環境影響評価の見直しを行い、環境目標・目的を設定して取り組んでいます。

本店では、各部署の取り組みを確認するため、環境パトロールを実施しています。

#### 内部パトロールの結果

2020年度	
実施者	本店安全環境品質部
目的	産業廃棄物の適正な管理ほか
実施部門数	[施工部門] 5カ所 [製造部門] 5カ所 合計：10カ所
指摘・是正事項	本店安全衛生委員会、環境委員会に報告し改善点を検討、その結果を各支店、施工部門、製造部門に水平展開を実施

#### 外部立入検査の結果

2020年度	
実施者	環境関連監督官庁ほか
目的	定期立ち入り、産業廃棄物の適正な管理、苦情(騒音・臭気など)調査
実施部門数	平均8件/月
指摘・是正事項	本店安全衛生委員会、環境委員会に報告し改善点を検討、その結果を各支店、工務部、製品部に水平展開を実施



環境パトロール



ISO14001登録証

### ●環境関連法令の遵守、汚染の防止

環境関連法令および自ら定めた事項を遵守し、化学物質や廃棄物などによる環境汚染と健康被害の予防に取り組みながら、有害物質排除や省エネルギー、省資源などの環境保護に努めています。また、法令遵守の状況については、各部署において「法規制等リスト」にて遵守チェックを行っており、2020年度、環境関連の法令違反はありませんでした。

### 品質マネジメントシステム (ISO9001)

品質マネジメントシステムの活動は、公共工事における舗装工事および土木構造物の施工について、発注者お

よびエンドユーザーの要求事項に応えるべく、事前の検討会(支店および本店)で問題点を抽出し、適切な解決策を決定します。施工中は支店(工務部)および本店(工務部)がプロセス管理を実施しています。

認証範囲外である民間工事については、「情報シート」や「アンケート」を活用し、問題点の早期解決を実現することで、顧客満足度向上を図っています。また、合材工場については、日本道路建設業協会が実施している「アスファルト混合物事前審査制度」を利用して、品質管理に努めています。製品およびサービスの提供、使用において、2020年度は法律および規制に関する違反はなく、罰金などの支払いはありませんでした。

### 労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001)

労働安全衛生マネジメントシステムの活動として、各部署において年度初めに既存および新規事業について労働安全衛生リスク評価の見直しを行い、労働安全衛生目標を設定して取り組んでいます。

現場での日々のリスクアセスメントについては、請負会社に対して、「安全管理必携」に示している「リスクアセスメント事例集」を参考にした具体的なリスク低減策を指導しています。

災害事故発生時には、必要に応じて事故調査会を開催し、本店も加わり事故原因の究明と是正措置を決定しています。

工事施工中や工場操業中の安全管理については、自所の所長および工場長のパトロール、支店工務部、製品部および安全環境品質部のパトロール、本店安全衛生委員会のパトロールという3重のチェック体制で毎月確認し、指摘事項があれば是正をしています。

2020年度は安全衛生に関する法律や規制の違反で送検の事例や罰金などの支払いはありませんでした。

また、会社側と労働者代表がそれぞれ半数で構成する「安全衛生委員会」を月1回開催して協議した結果を社内イントラシステムに掲載しています。



ISO9001登録証

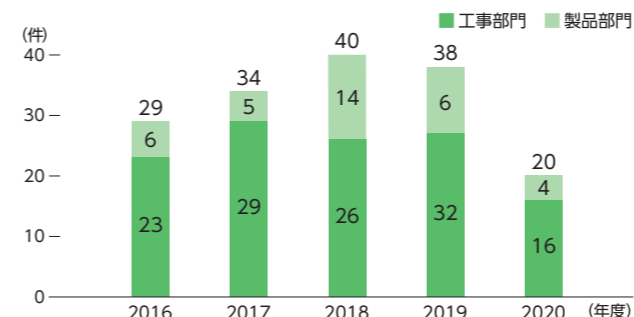


ISO45001登録証

### 労働災害事故について

労働災害事故(休業4日以上)の過去5年間の推移はグラフの通りです。

#### 労働災害事故(休業4日以上)の推移



#### 度数率<sup>※1</sup>・強度率<sup>※2</sup>(休業1日以上)の推移

年度	2016	2017	2018	2019	2020	
工事部門	度数率	2.87	3.72	2.09	2.47	1.68
	強度率	0.08	1.58	0.60	0.08	0.47
製品部門	度数率	4.97	3.29	4.21	2.47	2.82
	強度率	0.16	0.05	0.32	0.08	0.04

※1 度数率: 100万のべ労働時間あたりの労働災害による死傷者数で災害の頻度を表す  
 ※2 強度率: 1,000のべ労働時間あたりの労働損失日数で災害の重症度を表す

安全管理の基本となる「安全管理必携」を2019年4月に見直し、作業安全指示書やリスクアセスメント実施記録を確かなものにするため、過去の事故を参考にしたリスクアセスメント事例をもとに、実行予算検討会において周知しました。

安全衛生活動のチェック実施方法は、営業所の所長や合材工場の工場長が主導するパトロールや支店安全環境品質部・工務部・製品部が主導する支店パトロール、本店安全衛生委員会が主導するパトロールを毎月実施し、主導者が指摘事項の是正を確認しています。この結果、2020年度は死亡事故はありませんでした。

### ●リスクアセスメントの方法について

リスクアセスメントは2段階で行い、営業所および工場年度初めに実施するものと日々現場で作業安全指示書の安全指示を受けて協力会社実施するものがあります。

作業の工程から危険源を抽出し、作業頻度と危険発生度、重篤性にそれぞれポイントを付けて特定したリスクについて、①本質安全、②安全防護、③表示・標識、④教育や手順書の周知などの管理策の順で決定します。日々の現場におけるリスクアセスメントで本質安全な対策を

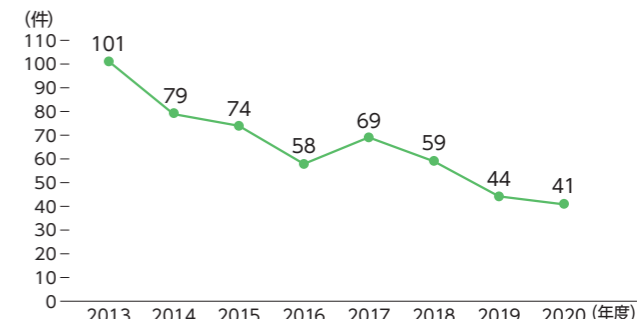
とるのは困難ですが、安全防護は重機の周りを立入禁止措置にするなどの対策がとられています。リスクアセスメントは決定したリスク低減対策が守られていることで効果を発揮するので、その監視が重要になります。

### ●社員の交通事故について

社員の交通事故防止については、2014年度から取り組んでいるテレマティクスサービス(車載装置による速度超過、急制動、急発進検知)、衝突被害軽減ブレーキ、およびドライブレコーダーによる対策のほか、運転者である社員には交通安全教育の実施や運転適性診断、所属長がドライブレコーダーを定期的に確認し指導するなどの対策を継続して実施してきました。

2020年度の発生件数は41件でした。

#### 社員の交通事故の推移



### ●2021年度の重点実施事項

「労働安全衛生方針」に基づいた行動を全員で実行し労働災害(休業4日以上)撲滅を目標とし、次の6項目を重点実施事項として取り組んでいます。

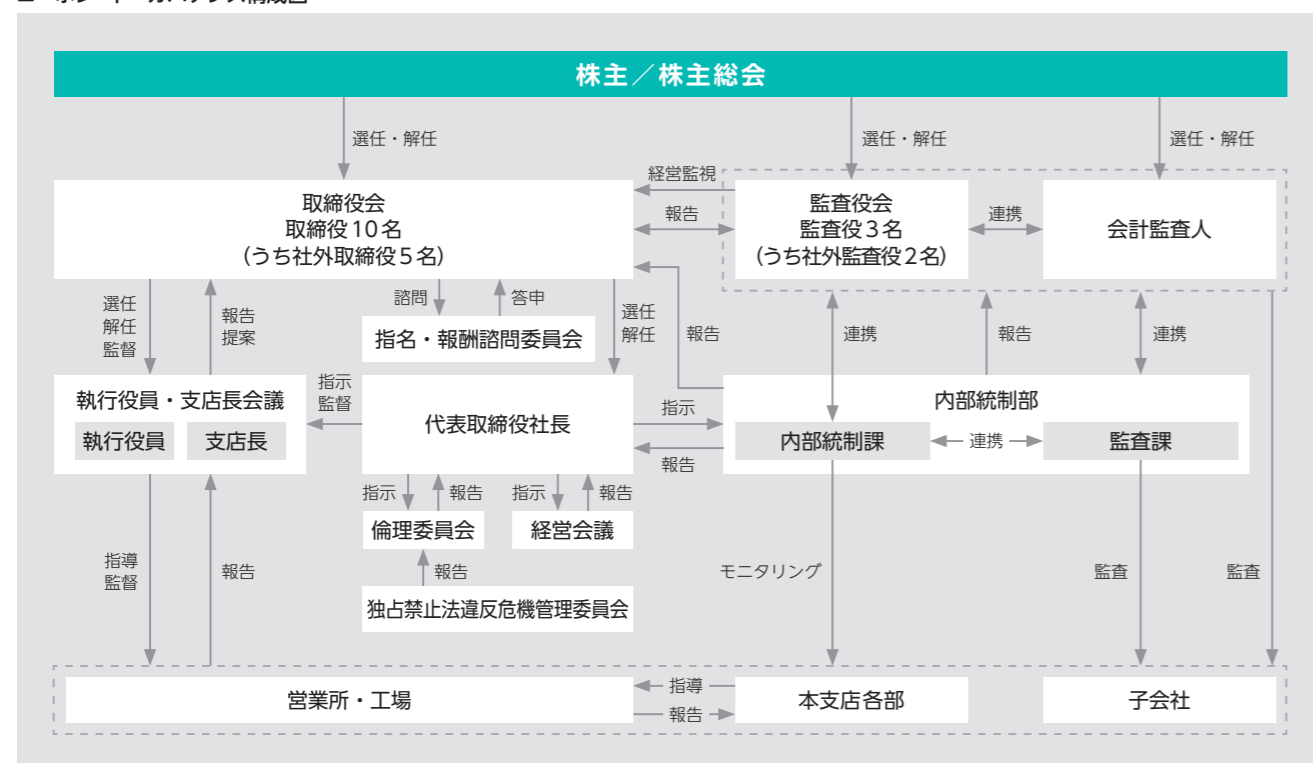
- ① 作業安全指示書での的確な危険有害要因の指示、適重機選定、人員配置、健康状態の確認を行い、手順・不安全行動回避の遵守
- ② 始業前点検での安全装置確認と、重機作業計画書により立入禁止、接触防止措置の徹底
- ③ 合材工場点検修理時の「スイッチオフ」の複数人確認と「一人作業禁止」の恒常化
- ④ 真の原因追求と再発防止策の徹底、継続教育の実施と水平展開での周知
- ⑤ 不健康状態での運転は厳禁とし、万全な状態で運転に集中する
- ⑥ 暑熱環境での長時間曝露を軽減する措置を講じ、相互意識を持って声掛けの徹底

# 信頼される企業であるために

## コーポレート・ガバナンス

当社では株主をはじめ取引先、従業員および地域社会を含むすべてのステークホルダーの利益を考慮しつつ、継続的に企業価値を高めていく手段であると考え、経営上の最重要課題と位置付けています。

コーポレート・ガバナンス構成図



### 取締役会

取締役会は10名（うち社外取締役5名）で構成されています。取締役会は毎月1回開催することとし、必要に応じて臨時に開催しており、法令に定められた事項および当社取締役会規程に定められた事項について決議しています。

また、取締役会にはすべての監査役が出席し、法令に定められた事項および監査役会規程に従い、取締役の職務の執行状況を監査し、経営の監視を行っています。

### 執行役員・支店長会議

経営責任を明確にし、経営の意思決定・監督機能の強化を図ると同時に業務の執行機能を強化するため、執行役員制度を採用しています。また、全国に11の支店を設置し、支店長がそれぞれの業務を統括しています。執行役員およびこれら支店長で構成する執行役員・支店長会議を開催し、取締役会の方針に基づく会社の計画、経営管理の具体的方針などを決定するとともに、取締役

会に対し業務の執行状況の報告および業務執行に関する提案を行っています。執行役員・支店長会議は、毎月1回開催することとし、必要に応じて臨時に開催しています。

### 監査役会

当社は監査役会設置会社です。監査役会は3名（うち社外監査役2名）の監査役で構成されています。監査役会は毎月1回開催することとし、必要に応じて臨時に開催しています。取締役会には3名の監査役全員が、執行役員・支店長会議には1名の常勤監査役が出席し、必要に応じて意見陳述を行うなど、取締役の職務の執行状況を監査し、経営の監視を行っています。また、内部統制部および会計監査人と随時情報交換・意見交換を行うことにより、監査機能の向上を図っています。

監査役	3名（男性：2名、女性：1名）
うち独立社外監査役	2名（男性：1名、女性：1名）

### 指名・報酬諮問委員会

指名・報酬諮問委員会は、5名（うち社外取締役3名、社外監査役1名）で構成し、取締役の指名・報酬などに関する手続きの客観性および透明性を確保することで、取締役に対する監督機能の強化を図り、コーポレート・ガバナンス体制を一層充実させることを目的として設置しています。指名・報酬諮問委員会は、あらかじめ定めた年間スケジュールに沿って開催することとし、その他必要に応じて臨時に開催しています。

### 取締役および監査役の報酬等

取締役の報酬等は、基本報酬および賞与であり、基本報酬については、取締役会の諮問に応じ、指名・報酬諮問委員会が各取締役の職位や在任期間を勘案した報酬案を作成し、取締役会の決議により決定しています。

役員区分ごとの報酬等の総額

役員区分	報酬等の総額（百万円）
取締役（社外取締役を除く）	285
監査役（社外監査役を除く）	37
社外役員	59

### 倫理委員会

倫理委員会は、法令などの遵守、不正経理の排除などを徹底させ、社内倫理の確立を図ることにより、会社の事業活動の適正化を推進するために設置しています。倫理委員会は、四半期に1回開催することとし、その他委員長が必要と判断した場合に臨時に開催しています。

### 経営会議

経営会議は、事業活動において生じた課題や設備投資・研究開発計画などの進捗状況を適時に把握し対処するために設置しています。原則として週に1回開催することとしています。

### 独占禁止法違反危機管理委員会

独占禁止法違反危機管理委員会は、独占禁止法に関する違反行為について迅速な対応を確保するためおよび違反行為を未然に防止するために設置しています。独占禁止法違反危機管理委員会は、四半期に1回開催することとし、その他委員長が必要と判断した場合に臨時に開催しています。

### 内部統制部

内部統制部は、全社的なリスク管理の実施状況および内部統制の有効性・効率性の評価などを実施するために設置しています。内部統制部には、内部統制の評価を担当する内部統制課および内部監査を担当する監査課を設置しています。

内部統制部は、内部統制課が実施する定期的なモニタリングの評価結果を社長、取締役会および監査役会に報告しています。また、内部統制課と監査課が連携し、必要に応じて臨時的なモニタリングを実施しています。

### 内部監査および監査役監査

監査課が監査計画に基づき会計監査および業務監査を実施しています。監査結果について、社長、取締役会および監査役会に報告を行うとともに、監査結果および是正状況について、監査役に報告し、意見交換を行っています。2020年度は11支店、20営業所、14工場と関係会社1社の監査を行いました。

監査役は、内部統制部と定期的に意見交換を行うとともに、監査業務に立ち会い、被監査部門に対して意見を述べる機会を確保して、監査業務の徹底を図っています。また、会計監査人と必要に応じて会合を開催し、監査計画・監査体制・監査実施状況などについて意見交換をするとともに、内部統制部と連携し会計監査人の監査業務に立ち会うことで、当該監査業務を推進しています。

### 子会社の適正業務を確保するための体制整備

子会社および関係会社の事業に関して責任を負う関係会社担当取締役を任命し、コンプライアンス体制を構築する権限と責任を持たせ、子会社に対しては、経営成績、財務状況その他重要な情報について、定期的に報告をするよう義務付けています。

また、子会社内に危機管理責任者を任命し、想定される危機の管理を行うとともに、重大な危機が発生した場合には、速やかに関係会社担当取締役および内部統制部に報告を行うよう義務付けています。

### 会計監査の状況

会計監査は有限責任あずさ監査法人と監査契約を結び、迅速かつ適正な経営情報を開示・提供すべく公正な立場から監査が実施される環境を整備しています。



# 信頼される企業であるために

## コンプライアンス

コンプライアンス体制を構築し事業活動の適正化を推進するため、倫理委員会を設置するとともに前田道路倫理綱領を定めています。

倫理綱領は、①経営の理念 ②倫理規程 ③行動規範 ④個別遵守事項 ⑤綱紀粛正の5項目からなっています。本綱領に従い役職員を含むすべての従業員を対象に啓蒙活動を行っています。

### 談合決別宣言

当社は、独占禁止法その他関係法令を遵守し、公正かつ自由な競争を実践するために、入札談合はもとよりすべての反競争的な行為を行わないことを誓います。信頼される企業を目指し「遵法」を最優先とした事業活動を行ってまいります。

### コンプライアンス教育

当社は、役員、執行役員および支店長ならびに管理職に対する特別研修、本店の各主管部門が役職別や社歴別により各支店から社員を集め実施する集合研修、本支店での諸会議の場を通じての研修、営業所・工場での監査終了後に実施する研修などあらゆる機会を利用して、独占禁止法や建設業法、廃掃法、コンプライアンス全般などの教育を行っています。2020年度は、6回のべ236名に対しコンプライアンス教育が行われました。

#### 2020年度教育実績表

研修種別	主な対象者	回数(回)	人数(名)	主な研修テーマ
特別研修	役員、執行役員、支店長、管理職、関係会社	1	35	ハラスメント防止策と対応方法
集合研修	新入社員 ほか	4	170	コンプライアンス全般/建設業法/独占禁止法/廃掃法/その他職種に応じた関連法など
諸会議での研修	支店長、支店管理職、所長・工場長、営業・工事担当者	1	31	コンプライアンス全般/建設業法/独占禁止法/廃掃法/その他職種に応じた関連法など
計		6	236	

※ 2020年度は、コロナ禍により研修が大幅に制限されたため、教育の回数も減少しました。

### 内部通報制度など

会社の危機を極小化するとともに倫理・法令遵守を推進するため、贈賄や談合・カルテルなどの違法行為を知った従業員から通報できる内部通報（ヘルプライン）制度を整備しています。内部統制部と弁護士事務所の双方にヘルプライン相談室を設け、違法行為・不正行為の通報、ハラスメント（パワハラ・セクハラ、その他）や人権問題の相談などを匿名でも受け付け、職場に潜む問題を早期に解決し、より良い職場づくりを目指しています。通報・相談の手段は口頭、電話、電子メール、郵便のいずれでも可能で、通報・相談者には、プライバシー保護はもとより、独占禁止法に係る通報については懲戒または訓戒を減免する特例を設けています。2020年度の通報実績は9件です。

また、「判らなかつたら、不安に思ったら法務課に訊いてみよう」とのキャッチフレーズを掲げて相談窓口を設けています。建設業法、独占禁止法などの法令に関するものからコンプライアンス全般、社内ルールまで幅広く相談を受け付けています。2020年度の相談件数は101件です。

### 腐敗防止

倫理綱領に綱紀粛正の徹底を掲げ、事業の適正化のために以下の3点を徹底させています。

- ①官公庁関係者およびこれに準ずる者に対する利益供与は一切厳禁する。
- ②疑念を第三者に与えるような言動・行動は厳に慎む。
- ③いかなる理由があろうとも非合法的手段による営業活動は厳禁する。  
また、中元・歳暮時期に合わせ社内通達を出すなどして、公務員との適切な関係保持や従業員が自己の利益のために職務を濫用させることのないように努めています。

#### 2020年度法務課相談受付実績

相談内容	件数(件)
建設業法	25
独占禁止法	8
会社法・金商法	1
社内ルール	11
その他	56
計	101

## リスクマネジメント

当社では、「経営危機管理規程」に基づき、「当社及び協力会社の社員とその家族の生命と安全の確保、並びに自社施工中現場の被害状況の把握と二次災害の防止に努めるとともに、被災道路復旧等の社会的要請や民間施設、周辺地域からの救助要請に応えること」を基本方針とした事業継続計画（BCP）を策定しています。

### BCP推進体制

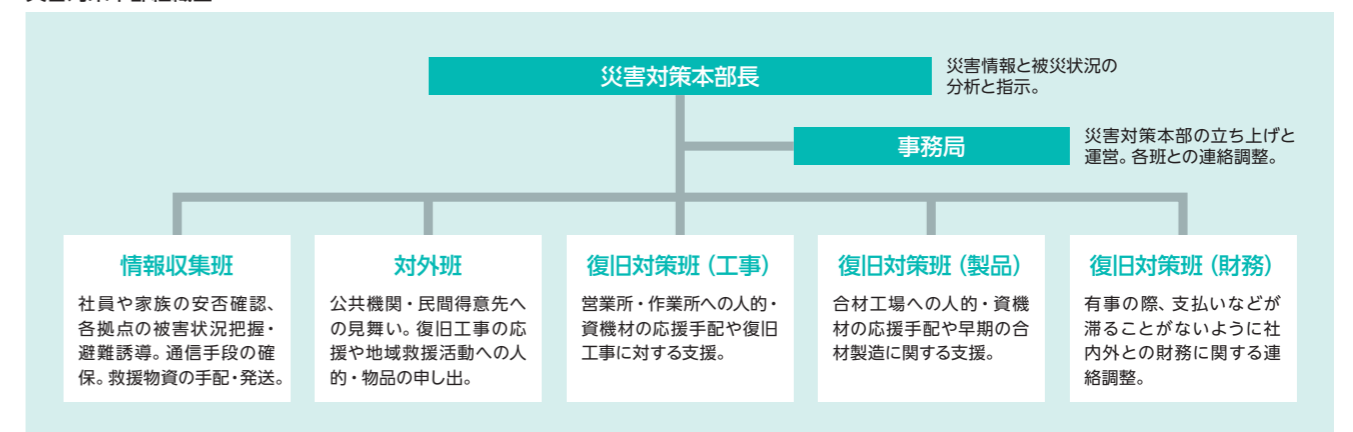
当社では、国土交通省へ提出する「災害時事業継続計画書」のみならず、支店ごとにもBCPを策定しています。事前に決定した役割・対策を遵守することにより、災害発生時に迅速な対応ができる体制を整えています。2020年度に全国で実施した訓練では、安否確認やIPトランシーバーの通信テスト、備蓄品の確認、ハザードマップや避難経路の確認などを行いました。

2020年10月、大規模災害を想定したBCPを策定し、国土交通省関東地方整備局から更新認定されました。これは地震などの災害発生時に、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画です。



BCP認定証

### 災害対策本部組織図



### 一時避難先としての災害協定

東京支店品川営業所では、2017年12月から「災害時における民間事業者施設の使用に関する協定」を品川区と締結しています。災害などの発生により一時避難をする場合、初動から多くの避難施設の開設が求められますが、区の提供施設のみでは収容人数に限りがあるため、一時避難の受け入れの依頼を受けましたが、十分なスペースを確保できるように準備を進めています。

前田道路枝川ビル（東京都江東区）では、2019年2月から「帰宅困難者の受け入れ等に関する協定」を江東区と締結しています。枝川ビル2・3・5階の一部を受入場所とし、受入人数は、帰宅困難者160名、津波等発生時一時避難者200名と想定し、備蓄品も完備しています。



品川営業所

前田道路枝川ビル

# 信頼される企業であるために

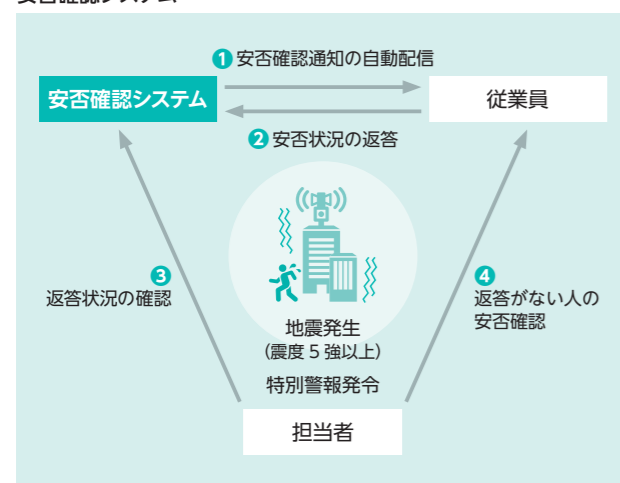
## リスクマネジメント

### 安否確認システムなどを活用した災害時の状況把握

安否確認システムには、全社員の勤務地と居住地を登録しています。震度5強以上を観測、または特別警報が発令された場合、その地域に登録されている社員へ安否確認メールが送信されます。定期的に全社員を対象とした安否確認訓練を実施しています。

2020年10月22日に全国でBCP訓練を実施しました。全社員を対象とした安否確認訓練や、各事業所ごとに安全や備蓄品の確認、IPトランシーバーを使った報告訓練を実施しました。

#### 安否確認システム



### 災害時避難訓練

本店をはじめ、各事業所でも災害時に備えた避難訓練などを実施しており、その活動の事例として、九州支店北九州合材工場では、社員の安全意識の高揚を図るため、小倉北消防署様のご協力のもと、救護講習会を開催しました。今回は主にAED(自動体外式除細動器)を利用した心肺蘇生の方法について、改めて理解を深めました。今後も定期的な講習会を実施していきます。



救護講習会

### AEDを用いた救助活動

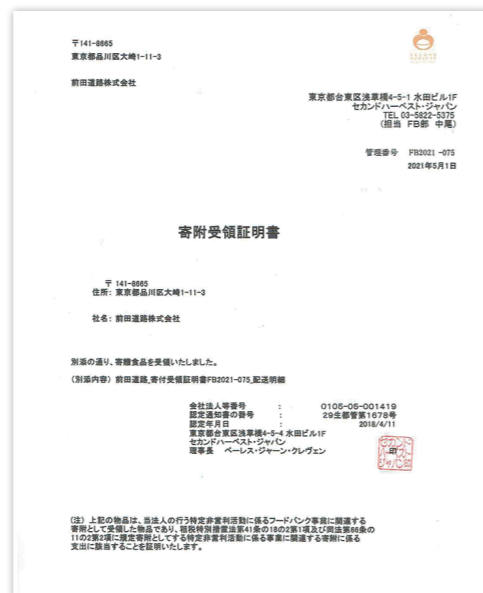
2020年11月24日、九州支店北九州合材工場付近において、急病人が発生し、工場勤務社員と協力会社の社員がAEDを用いた救命処置を行い、無事に救助されました。また、一連の救助活動に対して小倉北消防署様から表彰されました。定期的なAED講習を実施することの大切さを学ぶとともに、今後も継続して講習を行っていきます。



表彰の様子

### 備蓄品の寄付

災害などにより社員の帰宅が困難になった場合に備え、社員が5日間事業所に滞在ができるように食品などの備蓄を行っています。備蓄品は賞味期限や使用期限を定期的に確認して入れ替えを実施しており、期限が近づいたものは認定NPO法人へ寄付し、生活に困っている方など必要としている方々に届けることができました。今後も災害時に備えた備蓄品の管理と、有効活用を積極的に行っていきます。



寄附受領証明書

## Topic

### 新型コロナウイルス対策

当社では、新型コロナウイルス対策として下記の通り感染防止策を推進しています。



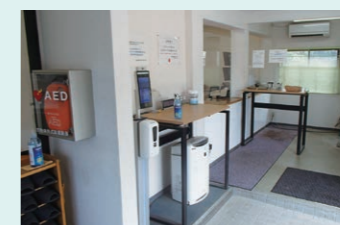
- 手指消毒やマスク着用
- 出勤時の検温
- 発熱や咳などの症状がある場合の自宅待機指示
- 時差出勤・リモートワークの推進
- 社内会議・研修の中止およびWEB推奨
- 社外との面談・会合への参加の自粛
- 社内外とのWEB会議の導入
- 受付にパーティションを設置
- ヘルメットの刷新(フェイスシールド付き)



本店入口



苫小牧営業所(北海道)



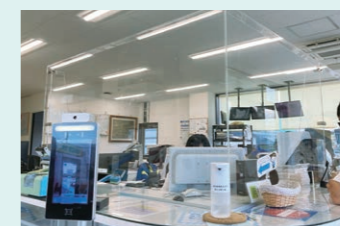
秋田合材工場(秋田県)



一関合材工場(岩手県)



湘南営業所(神奈川県)



富士合材工場(静岡県)



掛川合材工場(静岡県)



倉敷合材工場(岡山県)



広島営業所(広島県)



福山営業所(広島県)

### 産業支援キャンペーン

東北支店秋田合材工場で「産業支援キャンペーン」を実施しました。観光客の激減などの理由から厳しい状況下にある産業のうち酒造メーカーへの貢献のため、工場のサービス向上に関するアンケートを実施し、回答企業の中から抽選で地酒をプレゼントしました。東北支店内では、秋田合材工場のほかに12の工場で実施しました。



# 持続可能な地球環境のために

関連する SDGs



## 環境理念

わたしたちは、『経営の理念』の精神に則り、環境問題を企業の社会的責務の中の重要な課題と認識し、『人と環境にやさしい道づくり』のスローガンのもと、環境への負荷を軽減し持続的発展が可能な社会を形成することに貢献すべく、環境への配慮を組み入れた事業活動を展開する。

## 実績と評価

○ 達成した。(目標値 90%)  
 △ 達成していないが、一定の成果を残すことができた。(目標値 70～90%)  
 × 達成できておらず、改善に向けた具体的な検討が必要。(目標値 70%未満)

### 2020年度 各部門の実績と評価

環境目的	対象部門	2020年度 目標	2020年度 実績	評価 (○△×)	2021年度 目標	中長期目標 (2030年へ向けての目標)
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	製品部門 (本支店)	前年度比 0.7%削減	-1.0%	○	前年度比 3.0%削減 (2013年度比 23.0%削減)	エネルギー使用量・CO <sub>2</sub> 排出量の削減
	製品部門 (合材工場)	熱効率改善型燃焼システム* 3ヶ所設置	3ヶ所設置 (東城、小田原、横手)	○	3ヶ所設置	製造環境の改善
	オフィス部門 (本支店)	オフィスの使用電力量 前年度比 3.0%削減	+7.6%	×	前年度比 3.0%削減	毎年使用電力量の削減
リサイクル資材の有効利用	製品部門 (合材工場)	再生品販売数量 前年度比 3.0%増加	-3.4%	×	前年度比 3.0%増加	前年度比 3.0%増加の継続
オフィス廃棄物の削減	オフィス部門 (本店)	前年度比 10.0%削減	-30.0%	○	前年度比 10.0%削減	ゼロウェイへの取り組み
環境に配慮した工法の提案営業	技術部門 (本支店)	提案件数 60 件 (環境に配慮した工法)	82 件	○	提案件数 60 件 (環境に配慮した工法)	工事に関する省力化・省人化技術を開発し、積極的な導入を行う
環境に配慮した工法の受注確保		受注率 50% (提案件数比)	42.6% (35 件)	△	受注率 50% (提案件数比)	
環境に配慮した施工方法	工事部門 (本支店)	情報化施工面積 前年度比 5.0%増加	+12.6%	○	—	

\*熱効率改善型燃焼システム：アスファルト合材製造時に使用材料を加熱する機械装置

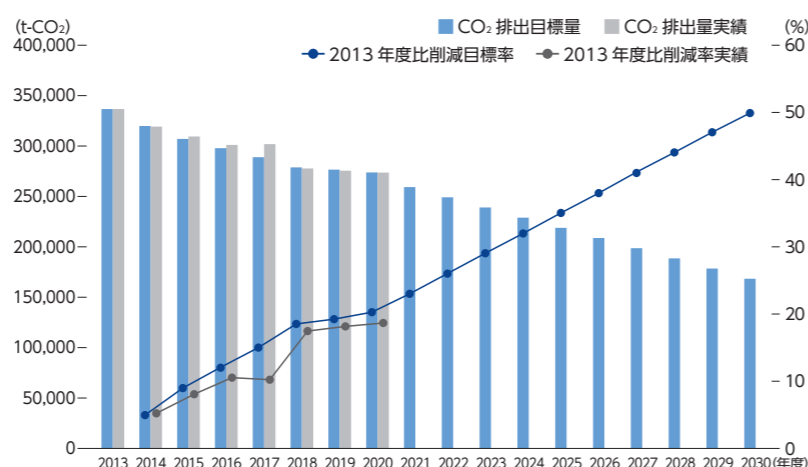
### CO<sub>2</sub>排出量削減目標と全社の取り組み

環境負荷軽減のため、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けてさまざまな取り組みを推進しています。

2020年度の自社CO<sub>2</sub>排出量は約273千t-CO<sub>2</sub>となり、排出削減量は2013年度比で18.2%となりました。

昨年度(2020年度)までのCO<sub>2</sub>排出量削減目標は、2030年度までに2013年度比-26%としていましたが、今年度から気候変動イニシアチブに参加しており、2030年度までのCO<sub>2</sub>排出量削減目標を見直し、2013年度比-50%に目標を引き上げ、2050年度カーボンニュートラル達成のため各部門での取り組みをさらに推進していきます。

### CO<sub>2</sub>排出量実績および中期目標



## 環境配慮・持続型技術

### フォームドアスファルト技術の推進

当社では、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの一環として、アスファルト舗装におけるリサイクルや温室効果ガス排出削減に寄与するフォームドアスファルト技術の推進を図っています。

現在日本では約100万kmにもおよぶ道路が舗装されていますが、この膨大な道路のストックは少資源国の日本にとっては貴重な財産であり、再生アスファルト合材などにリサイクルし有効活用してきました。しかし、舗装材料の再生が繰り返されることにより、将来的に再生アスファルト合材の品質が低下することが懸念されます。

また、温室効果ガスに関しては、2030年度における温室効果ガス削減目標を達成するため、新たな目標に向かって取り組みを行う中で、アスファルト合材の製造時に排出されるCO<sub>2</sub>排出量は当社全体のCO<sub>2</sub>排出量の約75%と非常に高い割合を占めています。

これらの対策として、フォームドアスファルト技術を用いたアスファルト合材の製造があります。フォームドアスファルト技術は、アスファルト合材製造時の温度を

20～30℃程度下げて製造することが可能なため、アスファルトの熱による劣化を抑制し、品質低下を抑制します。また、製造温度を低減することで使用燃料を削減し、CO<sub>2</sub>排出量の抑制が図れます。そのほかにも、製造温度を低減することは、夏季の屋外作業時における作業員の熱中症対策にも繋がるため、人々や社会に対して、さまざまな付加的効果が期待できます。このように、持続可能な社会を構築する上でフォームドアスファルト技術は非常に有効な技術です。

そのため当社では、フォームドアスファルト技術の普及に取り組んでいます。2020年度には新たに5工場を追加し、フォームドアスファルト発生装置が設置されている工場は、合計37工場となりました。今後も引き続きフォームドアスファルト技術の導入を積極的に進め、持続可能な循環型社会を推進し、長期的に地球環境を保全していくためにも、本技術のさらなる普及に努めていきます。

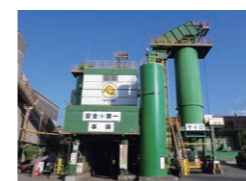
### フォームドアスファルト発生装置導入工場 (2020年度実績)

### アスファルト舗装施工時の労働環境の改善

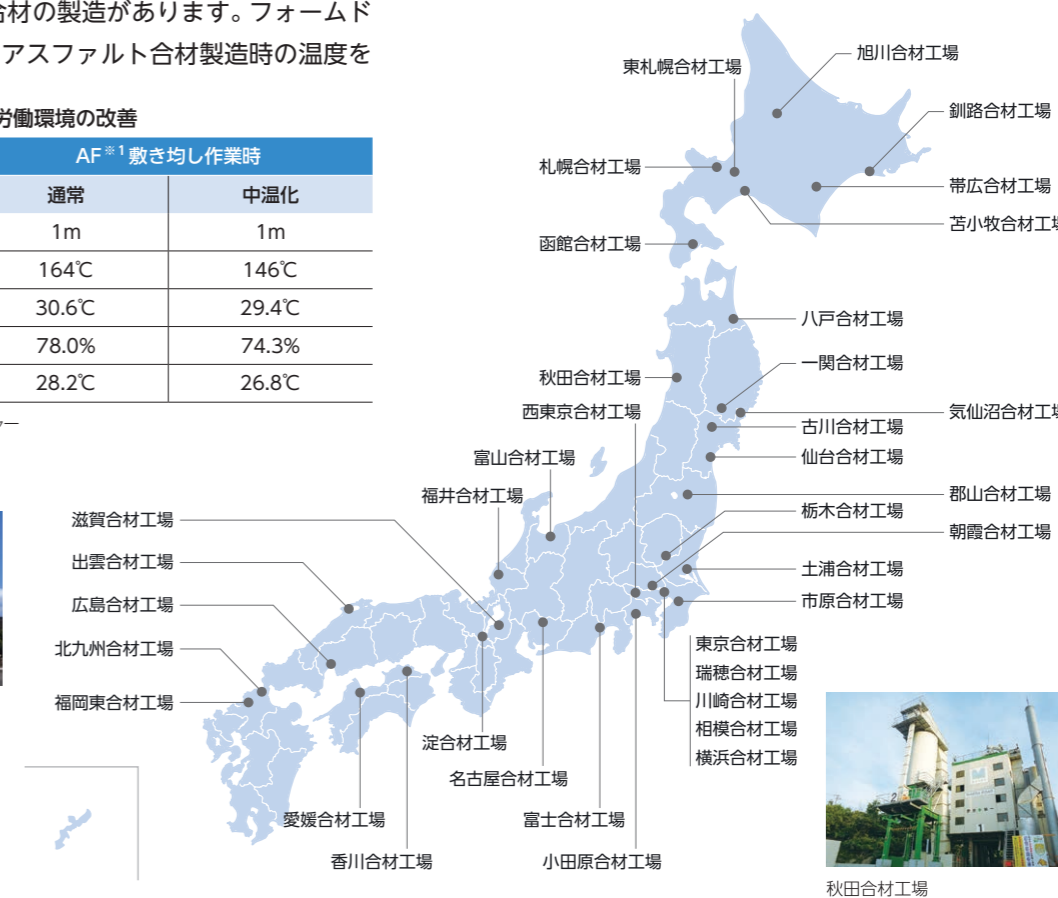
作業	AF <sup>※1</sup> 敷き均し作業時	
	通常	中温化
混合物	通常	中温化
測定高さ	1m	1m
混合物温度	164℃	146℃
気温	30.6℃	29.4℃
湿度	78.0%	74.3%
WBGT <sup>※2</sup>	28.2℃	26.8℃

※1 AF：アスファルトフィニッシャー

※2 WBGT：暑さ指数



愛媛合材工場



秋田合材工場

# 持続可能な地球環境のために

## 環境配慮・持続型技術

### グリーンインフラ工法への取り組み (水循環システム)

当社の水循環システムは、敷地内に降った雨水を雨水貯留槽 (アクアプラ工法) に貯留させ、雨水流出抑制による治水を行うと同時に、貯留した雨水を有効活用し、自動・手動・無動力の3つの方法で水を吸い上げる環境にやさしい工法です。

自動灌水装置は、貯留した雨水を電動ポンプで吸い上げ、タイマー制御しながら植栽や芝生、グラスパーキング舗装 (駐車場緑化) などへ散水する装置です。適時適量を自動で散水することができます。(写真-1)

手動灌水装置は、手押しポンプで保水性舗装へ打ち水をしたり、植物への水やりができます。電気が使えない災害時においても、災害用トイレなどで使用できます。(写真-2)

無動力灌水装置は、特殊な高吸い上げシートの毛細管現象を利用し、無動力で雨水を吸い上げ、拡散シートで地表面に水平展開させる工法で、雨水貯留槽上部の植栽への水やりができます。(図-1)

拡散シートにより、雨の当たらない軒下の植栽などでも効果を発揮します。またこの工法は、現在保水性舗装や人工芝への適用を実証実験中で、保水性舗装へ水分を供給して打ち水と同じ効果を与えることでヒートアイランド現象の抑制に寄与し、人工芝への適用ではプレイヤーの体感温度を下げることで期待されます。(写真-3)

このように、当社はグリーンインフラへの取り組みに対して、積極的に挑戦しています。

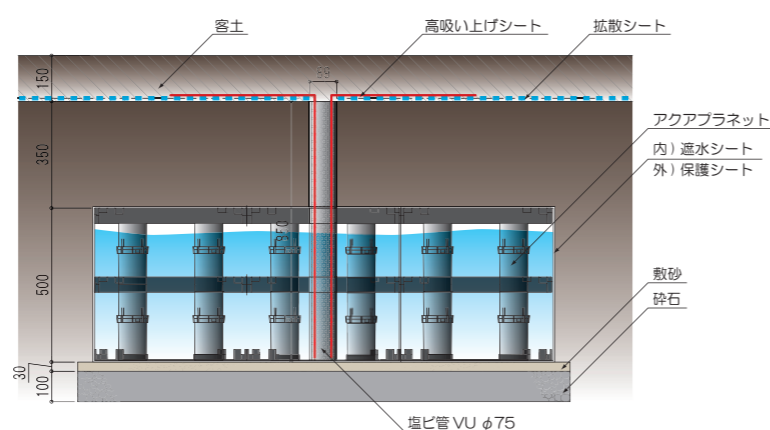


図-1 無動力灌水装置図



写真-1 自動灌水装置



写真-2 手動灌水装置



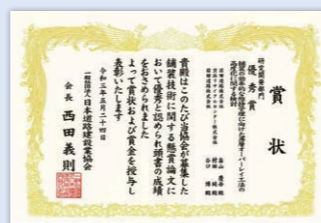
写真-3 無動力灌水装置と保水性ブロック

### Topic

#### 薄層オーバーレイ工法の論文が表彰されました

日本道路建設業協会が主催する第22回舗装技術に関する懸賞論文において、研究開発部門で優秀賞を受賞しました。

近年では、補修が必要な道路舗装が増加し、効率的な維持管理が求められていることに対し、当社の薄層オーバーレイ工法「スマートコート」の適用について論文を投稿し、高い評価を頂きました。



### 蓄熱燃焼式脱臭炉の設置による環境負荷低減のメリット

近年、合材工場周辺の市街化が進んできており、当社は、地球環境にやさしい工場を目指し、蓄熱燃焼式脱臭炉の設置を行いました。

合材工場の臭気は主に製品製造工程でリサイクル骨材の加熱乾燥時に煙突から発生します。再生プラントの排ガス臭気対策としては、リサイクル骨材の加熱乾燥炉とは別に排ガスの直接燃焼式脱臭炉を設置する手法が一般的です。しかし、臭気対策が解決する反面、直接燃焼式脱臭炉によって、多くの燃料を使用することが工場での課題でした。

蓄熱燃焼式脱臭炉を採用することにより、従来装置に比べて以下のような環境に対するメリットがあります。

1. 臭気指数の大幅な低減
2. 脱臭炉の燃料消費量が減少

蓄熱燃焼式脱臭炉は、一般的な直接燃焼式脱臭炉にはない蓄熱層に熱をためてエネルギーの損失が少ないことと、処理対象の排ガスからの揮発性有機化合物が自然燃焼することで大幅な燃料使用量削減となります。

	蓄熱脱臭炉実績	直熱脱臭炉実績	削減率
臭気指数	25	33	24%
燃費 (m <sup>3</sup> /t)	0.65	4.01	84%



朝霞合材工場 蓄熱燃焼式脱臭炉 (埼玉県)



名古屋合材工場 蓄熱燃焼式脱臭炉 (愛知県)

## 気候変動への対応

### エネルギー使用量削減の取り組み

当社は、省エネ法の特定事業者指定されており、定期的なエネルギー使用量報告やエネルギー使用に係る原単位<sup>※</sup>の年平均1%以上の削減に取り組んでいます。

※原単位：一定量の生産物をつくるために必要な原材料や燃料などの単位

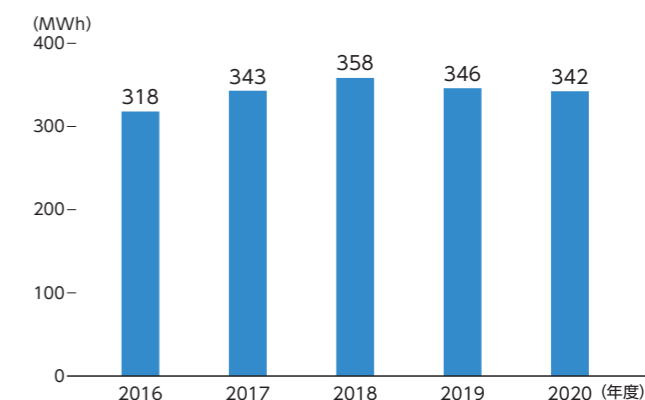
### 再生可能エネルギーの使用

当社では下記の取り組みで、再生可能エネルギーの使用によりCO<sub>2</sub>排出量や化石燃料の使用量削減を推進しています。

#### ●太陽光発電の活用

約30カ所の営業所や合材工場に太陽光発電設備を設置しています。太陽光発電は、発電時にCO<sub>2</sub>が発生しないため、2020年度は、CO<sub>2</sub>排出量を全社合計で約170t-CO<sub>2</sub>削減したことになります。自社発電することで、災害時に停電した際にも使用できます。

#### 太陽光発電の使用量の推移



### 工場内重機の燃料切り替え

合材工場において、工場内の重機稼働時に排出されるCO<sub>2</sub>削減のため、一部の工場では現在使用している燃料を軽油からGTL燃料<sup>※</sup>に切り替える取り組みを行っています。2020年度の使用量は9事業所で177,601ℓでした。

今後、GTL燃料を重機使用燃料として適用する工場を増やしていく予定です。

※GTL燃料：硫黄分・芳香族分をほとんど含まず、無臭であり、国土交通省の「新技術情報提供システム「NETIS」」にも登録されているもので、燃焼時のCO<sub>2</sub>排出削減効果や環境負荷低減が見込まれる燃料

# 持続可能な地球環境のために

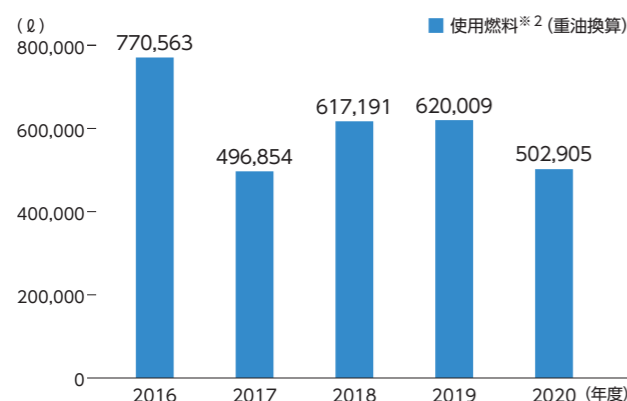
## 気候変動への対応

### ●バイオマス燃料の使用

アスファルト合材を製造する際に使用する燃料の一部を、グリセリン<sup>※1</sup>などのカーボンニュートラル燃料に置き換えることで、CO<sub>2</sub>排出量の削減を図っています。

近年はさまざまな理由により安定的なグリセリンの入手が困難になっていますが、そのような地域では使用済みの天ぷら油などの活用にも取り組んでいます。

#### バイオマス燃料使用量の推移 (工場計)



※1 グリセリン: バイオマス発電やバイオディーゼル燃料を製造する際に発生する副産物  
 ※2 使用燃料: グリセリン、木タール、SVOが含まれる

### ●健全な森づくりへの貢献

当社では、サステナビリティレポートおよび社内報の印刷に「森の町内会 間伐に寄与する紙」を使用しています。間伐促進費を付加した同紙を購入し、印刷用紙に使用することで、間伐促進費の全額が間伐と間伐材の有効活用に使われ、健全な森づくりに貢献する仕組みになっています。間伐されて太陽光が十分に入る森林は、地球温暖化と土砂災害を防止し、生物多様性の保全などにも機能を発揮します。2020年度は、0.14ha分の間伐に貢献しました。



林地の間伐材

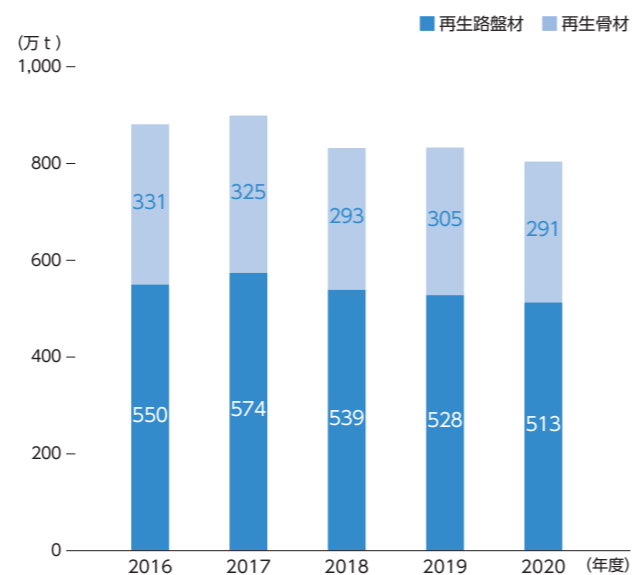
## 循環型社会の構築

資源の有効利用を図るため、建設廃材のリサイクルおよびエネルギーや天然資源の消費量削減などに向けて、循環型社会形成システムの構築を積極的に推進しています。

### 建設副産物のリサイクル状況

建設副産物の有効利用による再資源化のため、建設工事現場から排出されるアスファルト塊・コンクリート塊を主とするがれき類ならびに陶磁器くずを全国の破砕工場に毎年約800万t受け入れています。この受入量は、全建設廃棄物の概ね10%以上となっています。受け入れたアスファルト塊・コンクリート塊・陶磁器くずをそれぞれ再生骨材・再生路盤材として再利用しており、再資源化率は概ね100%となっています。再生骨材は合材工場へ供給され、再生アスファルト合材の材料として使用されます。また、再生路盤材は、土木資材として販売しています。全社で製造したアスファルト合材のうち再生アスファルト合材の割合は約74%です。

#### 建設副産物のリサイクル状況の推移



### 2020年度の実績

建設副産物受入数量 (千 t)		
アスファルト塊	コンクリート塊	計
3,983	3,792	7,775

再生製品販売数量 (千 t)		
再生骨材	再生路盤材	計
2,914	5,130	8,044

破砕部門売上高の内訳 (百万円)		
建設副産物受入	再生製品販売	計
5,994	4,954	10,948

※算出範囲: 当社、関係会社(グループ工場)の合計値

破砕工場では、再生アスファルト合材に使用する再生骨材の生産能力を上げるために、設備の能力アップを行っています。品質管理の徹底ならびに工場周辺の環境に十分配慮し、適切な環境整備を実施しながら、再生アスファルト合材の製造に取り組んでいます。

### ガラス入り合材の製造・販売

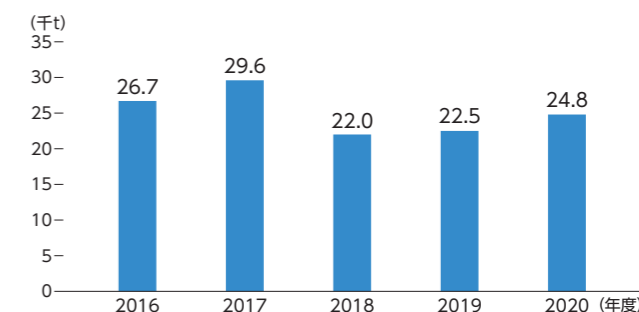
東北支店八戸合材工場では、ガラス瓶のリサイクル事業を推進しています。

廃ガラスを細骨材として再利用したアスファルト合材は、「青森県認定リサイクル製品」に認定されており、廃ガラスのリデュース・リユース・リサイクル推進に貢献しています。

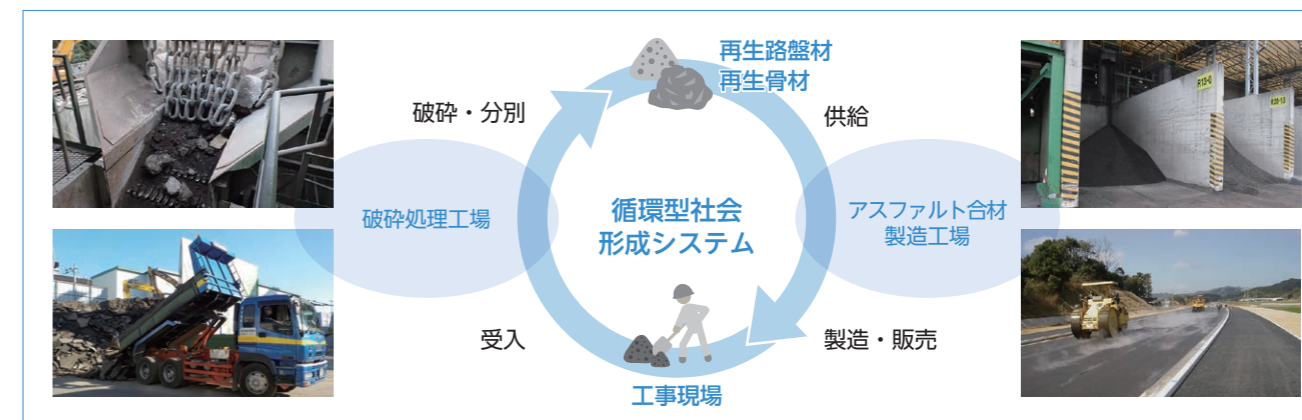
ガラスの特性として、夜道で光に反射するため視認性が向上し、安全走行への注意喚起効果や、景観向上効果もあります。

今後もリサイクル事業に積極的に取り組みます。

#### 八戸合材工場のガラス入り合材販売数量の推移



### 産業廃棄物(建設)のリサイクル図



### VOICE

#### 工場の設備更新による周辺環境への配慮

当工場は、最新鋭の蓄熱燃焼式脱臭装置に設備更新を行い、作業の効率化およびCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでおり、臭気を抑制することで周辺環境へ配慮しています。

また、産業廃棄物の処理施設を有しており、工事現場で発生したがれき類を受け入れ、再生骨材・再生路盤材としてリサイクルしています。

今後もさまざまなアイデアや技術を活用し、環境に配慮した工場を目指していきます。



中部支店 西名古屋合材工場  
早崎 正洋

# 持続可能な地球環境のために

## 事業における環境負荷の低減

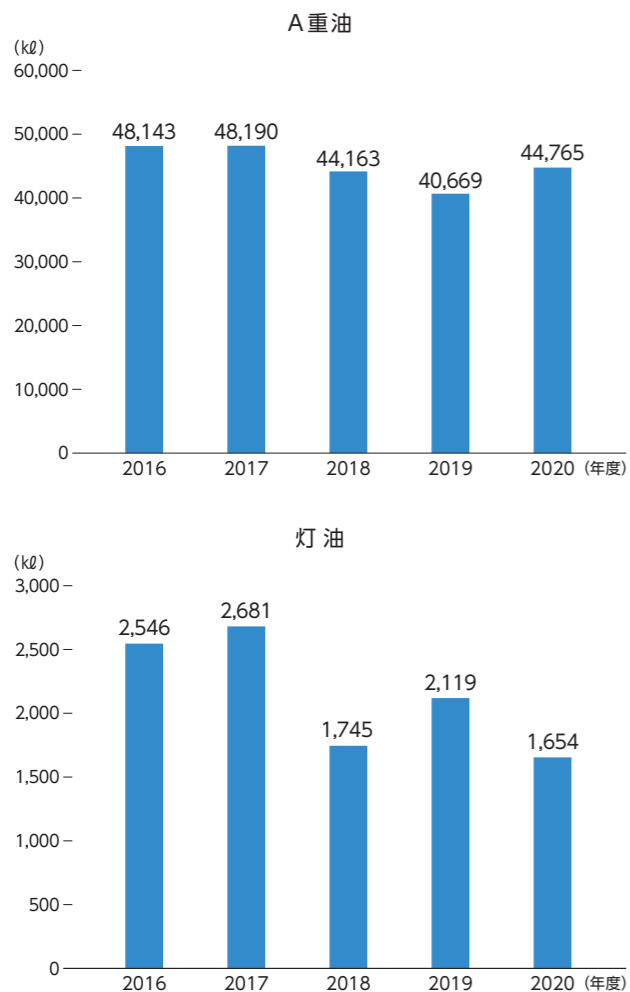
### 化学物質の管理

アスファルト合材を製造するための燃料としてA重油を燃焼させる際に、メチルナフタレンが発生します。また、灯油を燃焼させる際には、キシレンやトリメチルベンゼンが発生します。ほとんどが排ガス処理装置で除去されますが、微量は大気中に放出されます。

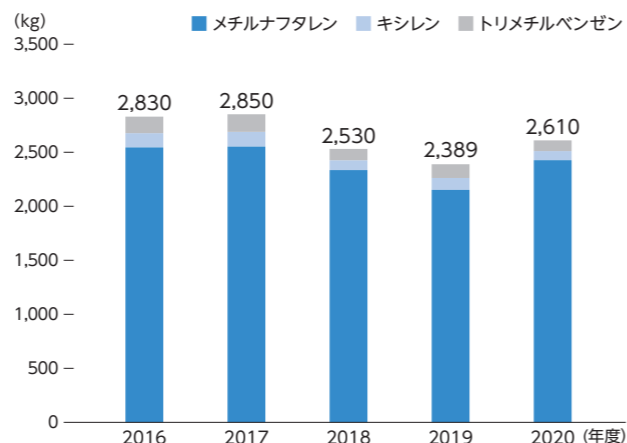
約100カ所ある当社の合材工場では、排出されるこれらの化学物質をPRTR制度\*対象物質として、その排出量を管理しています。燃費の改善やバイオマス燃料の使用など、引き続き排出量の削減に取り組んでいきます。

\* PRTR制度：事業所から排出される特定化学物質の量を国へ届出し、公表する制度

### 燃料使用量の推移



### PRTR制度対象物質の排出量の推移



### 油などの流出防止対策

当社の製品事業において、重油を燃料としている合材工場があり、工場内の重機、車両にも軽油などの鉱物由来の燃料が使用されていることから、工場外への油などの流出事故が懸念されます。

流出事故防止策として、合材工場では油水分離槽の点検および自動油脂回収装置の設置を行っています。また定期的に支店、本店の環境パトロールを実施し、現状把握および監視体制を整備しています。

2020年度は、油などの流出事故はありませんでしたが、すべての合材工場で、緊急事態を想定した対応マニュアルの策定、定期的な訓練を実施しています。

お客様に対しても、製品がダンプトラックの荷台に付着しないよう塗布する植物由来の付着防止剤を配布し、今後も近隣の水質基準遵守のため、マニュアルの適宜改定、担当従事者への教育を徹底し、水質管理に努めます。

### 生物多様性保全の取り組み

全国の破碎工場では、環境アセスメント評価が義務付けられており、設置許可認定を取得しています。当社で施工するほとんどの工事現場は、環境アセスメント評価実施済みの場所での工事です。環境アセスメント評価が必要な場所で工事をする場合は、適切に評価を実施し生態系への影響がないことを確認しています。

### 水資源への取り組み

水資源への取り組みとして、水の使用量削減と水質保全に努めています。工場では、全国68カ所に井戸を設置しており、井戸水を使用することで水道使用量を削減しています。また水質保全策として、川の清掃活動を各地で行っています。北関東支店朝霞合材工場では、2012年に埼玉県「川の国応援団」に認定されて以来、

### 2020年度水使用量(工場)

水道使用量	井戸水使用量
100,344.7m <sup>3</sup>	124,785.0m <sup>3</sup>

定期的に所属社員全員で作業しています。今後も継続して活動していきます。



川の清掃の様子

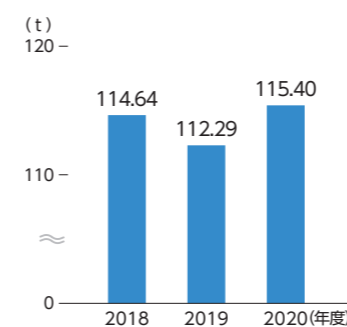
### Topic

#### 安全、安心な製品を提供するために

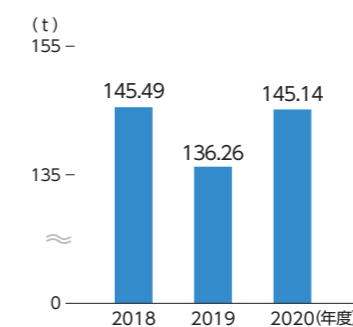
お客様に安全、安心な製品を提供するために、環境負荷となる物質についての自主管理、自主点検を徹底しており、リサイクル品ではアスベスト、ヒ素のチェックを実施しています。合材工場では、アスファルト合材を製造する過程で、骨材(砕石、砂)を乾燥炉で加熱・乾燥させています。燃料として使用している重油や灯油の窒素分、硫黄分については、毎月試験成績表で法令に準拠しているか確認しています。

また、骨材を加熱・乾燥する際に発生するばい煙については、大気汚染防止法に基づき、定期的にばい煙に含まれる窒素酸化物(NOx)、硫黄酸化物(SOx)、ばいじん濃度や量について計測を行っており、規制値内であることを監視しています。合材工場の計測結果をもとに、年間排出量を算出した結果は、次の通りです。(95工場)

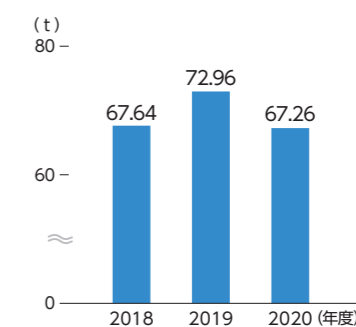
#### 窒素酸化物(NOx) 排出量



#### 硫黄酸化物(SOx) 排出量



#### ばいじん排出量



# 持続可能な事業を展開していくために

関連する SDGs



## ICT<sup>※1</sup>など技術開発によるイノベーション

現場ごとに仕様や環境が異なる建設工事では、工場での製品化やロボット作業化をすることはまだまだ難しく、作業従事者の減少や高齢化などの問題も山積しています。これに対し建設産業ではi-Construction<sup>※2</sup>のもとICTなどを活用して生産性向上を図る取り組みを進めています。

※1 ICT：情報通信技術のこと。情報や通信に関する技術

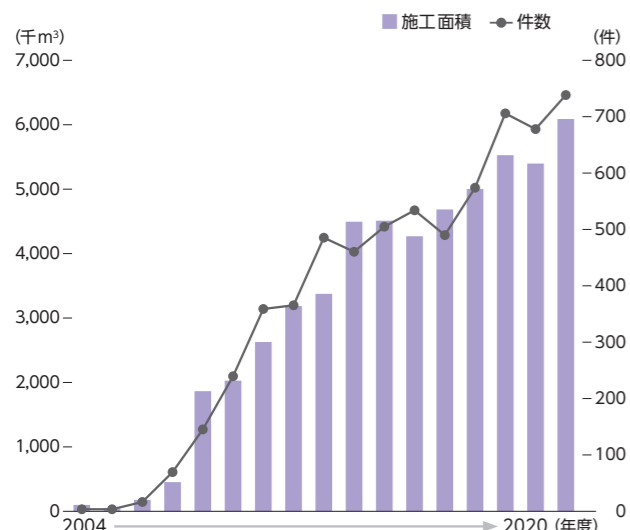
※2 i-Construction：すべての建設生産プロセスでICTなどを活用し、建設現場の生産性向上を目指す国土交通省の取り組み

### 情報化施工の取り組み

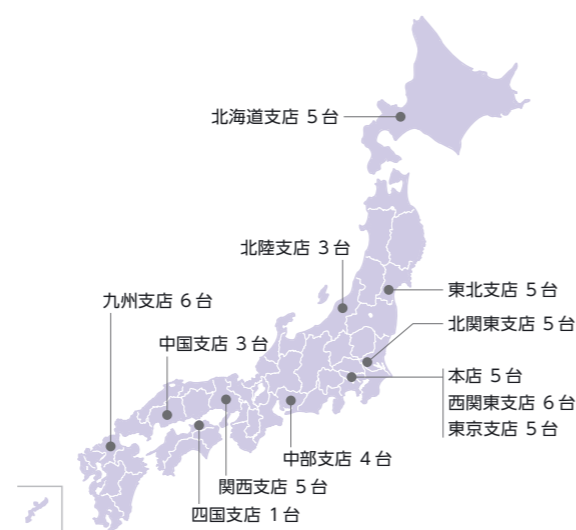
情報化施工とはICTを活用した施工方法のことで、主に施工精度や作業効率を向上させる機械作業技術です。中堅の技術者でも熟練者同様の機械施工や、作業あたりの燃費消費量が低減、騒音・振動などの環境負荷の軽減が可能です。

当社は2004年度にICT仕様のブルドーザやモータグレーダを導入して以来、情報化施工の適用を積極的に推進し着実に施工実績を増やしています。また、維持管理の時代に向けて開発した当社独自の情報化施工技術「かんたんマシンガイダンス」は国土交通省の新技術情報提供システム（NETIS）に登録され、舗装修繕工事の現場に導入を進めています。

ICT建設機械（3Dブルドーザ、3Dグレーダ）の年度別施工実績



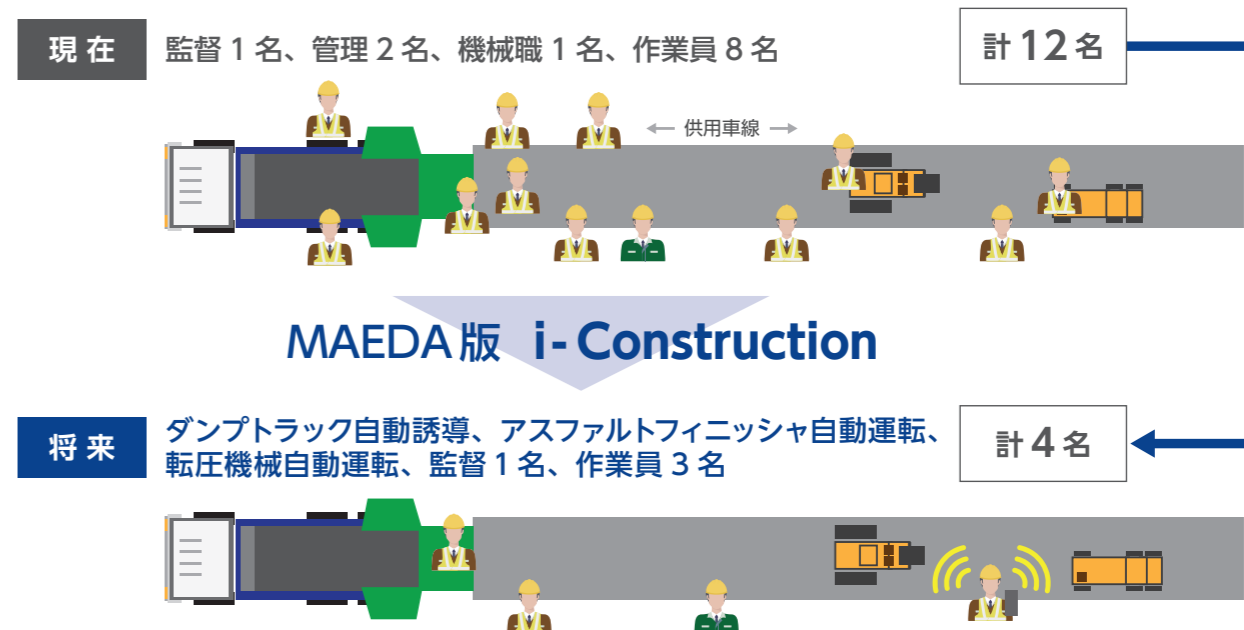
情報化施工機械（ブルドーザ・グレーダ）の配置状況



### ICTなどを活用したさらなる生産性向上の取り組み

舗装工は建設業の工種の中で、特に多くの人員を要しています。建設業就業者数の減少や自動運転などの革新的技術の進歩を見据えて、将来的には半分以上の体制で施工できるよう、情報化施工を含むICT技術を中心とした省人化・省力化技術の積極的な導入や技術開発を進めています。

### 前田道路が描くICTによる省人化・省力化の未来像（施工）



**将来** ダンプトラック自動誘導、アスファルトフィニッシャー自動運転、転圧機械自動運転、監督1名、作業員3名

### 24.建設機械搭載型レーザスキャナによる土・舗装工事のリアルタイム出来形管理の実現

推薦者	法政大学 今井龍一
業者名	前田道路株式会社 三菱電機エンジニアリング株式会社 法政大学 今井龍一（デザイン工学部 教授） 中村健二（大阪経済大学 教授） 塚田義典（摂南大学 講師）
本社所在地	東京都品川区

**【取組概要】**

- ICT舗装工では表層の面管理のためのデータ計測が必須であるが、現状では計測からデータ処理、そして出来形の品質確認に時間を要するため、路床や路盤工では実施できていない。
- 本システムは、舗装工の中間工程における面管理の効率化を目的として、建設機械搭載型のレーザスキャナを開発した。
- 施工と同時に点群データを計測し、結果を解析処理しリアルタイムに確認できる。
- 発注者は計測から1時間以内に、現地に行くことなく、リモートで出来形の品質を確認できる効果を受用する。

- リモートで出来形品質を確認できるため、省力化や監督員との情報共有など、施工管理の高度化や生産性向上に寄与する。また、コロナ禍でニーズが高まっている発注者の遠隔現場に活用できる先進的な技術といえる。
- 実務者の用途を満足するために開発しており、地元業者でも導入しやすい価格帯の出来形計測装置の開発を行うとともに、現場における施工事例を積み重ねており、波及性が高い。

受賞技術の概要（国土交通省HP（令和3年2月26日）から引用）

### Topic

#### 開発技術が国土交通大臣から表彰を受けました

生産性向上を図る技術として開発中の「建設機械搭載型レーザスキャナによる出来形管理システム」が国土交通省主催の「令和2年度i-Construction大賞<sup>※</sup>」において優秀賞を受賞しました。

舗装工の施工管理の生産性向上技術として開発している「建設機械搭載型レーザスキャナによる出来形管理システム」は、アスファルト舗装工の前工程である路床工や路盤工の仕上がり面の形状を、建設機械に搭載した装置（レーザスキャナ）で計測し、短時間でデータ処理して3次元的に出来形管理を行う革新的なICT技術です。4年前から法政大学今井教授（当時東京都市大学）および三菱電機エンジニアリング株式会社と共同開発を進めてきた成果の一つとしてこの賞を受賞できました。この賞を全国規模の道路会社が受賞したことはなく、当社が初めての受賞となります。今後は複数の現場で導入を進め製品化を図ります。

※i-Construction大賞：国土交通省が建設現場の生産性向上を図る優れた取り組みをベストプラクティス（好事例）として広く紹介・展開する表彰制度



# 地域社会との共生のために

関連するSDGs



まえだパーク・まえだTEQ

## 特集

# 「まえだパーク・まえだTEQ」完成

当社は、西関東支店川崎営業所（川崎市高津区）の敷地内に地域貢献、環境貢献をコンセプトに設計した「まえだパーク・まえだTEQ」をオープンしました。まえだパークは地域住民の憩いの場として利用していただくだけでなく、減災と防災機能を有した自主管理公園として整備し、一般開放しています。

防災機能として、災害時にトイレやかまどとして使用できるベンチを設置し、集中豪雨による浸水を軽減する雨水貯留槽を埋設しています。アクアブラ工法による雨水貯留槽内の水については、ポンプなどで汲み上げ、植物への水やりや打ち水などに有効利用が可能です。

まえだTEQは、プライベートゾーンとなっていますが、環境にやさしい舗装材をはじめ当社のさまざまな景観舗装を实物展示し、広く当社製品を知ってもらうため舗装のショーガーデンとして活用できるようにしています。

2021年4月14日に完成披露会および近隣住民を対象とした内覧会を実施し、完成披露会には各関係部署の皆様、協力会社の皆様に参加していただき、ご来賓として川崎市高津区区长、久地小学校校長、地元自治会会長にご臨席いただきました。区長からは先進的な取り組みに対して非常に高い評価をいただき、川崎営業所は川崎市災害協力事業登録制度に登録しました。また、川崎市地球温暖化防止活動推進センターからも環境対策工法に大変興味を持っていただき、センター内に川崎市民へ紹介するためのブースを用意していただくなど、企業と行政の新たなつながりができました。久地小学校からは今後授業の一環としての環境学習で、自治会からは地域の防災訓練などで「まえだTEQ」を活用したいとのご要望もあり、今後地域とのつながりはますます深くなりそうです。内覧会にも子供から大人まで多くの方々が来場し、環境や防災に対する関心の高さがうかがい知れました。



**防災施設** 地域貢献・環境貢献をコンセプトに近隣住民の皆様のための防災施設と憩いの場を提供しています。

**水循環システム** 敷地内に降った雨水を雨水貯留槽（アクアブラ®工法）に貯留させ、自動・手動・無動力で散水などに有効利用する環境にやさしいシステムです。

**自動灌水装置** 貯留した雨水をポンプアップし、グラスパーキング舗装（駐車場緑化）ヘタイマー制御し、散水します。  
**手動灌水装置** 手押しポンプで保水性舗装へ打ち水を行ったり、畑や花壇への水やり、災害用トイレで使用します。  
**無動力灌水装置** 毛細管現象を活用し、無動力で雨水を吸上げ、雨水貯留槽上部の植栽への水やりや保水性の舗装材へ水分を供給し、打ち水と同じ効果を与えます。（研究開発中）

**景観舗装のショーガーデン** 当社の特殊景観舗装材を实物展示しています。

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 御影石風ベアコート<br/>半たわみ性舗装（御影石風仕上げ）</li> <li>② 御影石風ベアコートW<br/>半たわみ性舗装（保水・御影石風仕上げ）</li> <li>③ ヒートオフパイプ<br/>遮熱性舗装</li> <li>④ 型押しアスファルト舗装<br/>型押しアスファルト舗装</li> <li>⑤ エクセルクリート<br/>コンクリート用スタンプ工法（新設用）</li> <li>⑥ セラフォーム<br/>KC工法（型枠式カラータイル工法）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ スマッシュコート<br/>無機質シリカ系舗装</li> <li>⑧ フィットコート<br/>アクリル系樹脂舗装</li> <li>⑨ ペブルコートDP<br/>自然色脱色アスファルト舗装（天然砂利）</li> <li>⑩ ソフトコート<br/>ゴムチップウレタン舗装</li> <li>⑪ ロングパイル人工芝舗装<br/>ロングパイル人工芝舗装</li> <li>⑫ 天然石舗装<br/>天然石舗装（乱張り）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑬ インターロッキングブロック舗装<br/>インターロッキングブロック舗装</li> <li>⑭ コンクリート平板舗装<br/>コンクリート平板舗装</li> <li>⑮ グラスパーキング舗装<br/>駐車場緑化舗装</li> <li>⑯ 景観用人工芝<br/>人工芝舗装</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



かまどスツールの展示



トイレスツールの展示



内覧会で大人気の手押しポンプ



# 地域社会との共生のために

## 現場見学の実施

2020年8月24日、九州支店長崎営業所が現場見学会を実施しました。施工中の国道34号新日見トンネルにて地元企業の方を招き、



現場見学会の様子

施工に活用しているICT技術やスリップフォーム工法の紹介をしました。見学会は感染症対策として複数回実施し、多くの方に見学をしていただきました。

## 清掃活動の実施

道路愛護活動への功績が顕著であるとして、2020年8月21日、国土交通省仙台河川国道事務所より表彰を受けました。東北支店古川営業所は、これまで13



清掃活動の様子

年間にわたり営業所の前を走る国道47号線の清掃を週2回続けており、この活動が道路利用者への環境整備に貢献しているとして高く評価されました。

## 廃棄物適正処理活動

北関東支店朝霞合材工場は、埼玉県環境産業振興協会主催の3S運動において、スタイル部門の最優秀賞をいただきました。廃棄物を適正に処理するための勉強会の定期的な実施や、掲示物やチラシを作成しお客様へもわかりやすく説明を実施したことに評価をいただきました。



最優秀賞状

## エコバッグの配布

2020年7月からのレジ袋有料化に伴い、エコバッグを製作しました。従業員やその家族へ配付し、エコへの意識を高めています。



エコバッグ

## 心のバリアフリー

東京支店では、障がいのある方にとって安全で快適な道路環境を整備するために、体験学習や講習会により社員の意識向上を図っています。手話講習会の開催や点字入り名刺の作成、視覚障がい者誘導ブロック歩行体験会などを実施し、東京都から「心のバリアフリー」サポート企業に登録されました。今後もさまざまな活動を通して、多くの皆様に快適に過ごしていただける事業活動を推進します。



手話講習会の様子

## 献血活動

東京都赤十字血液センターにご協力いただき、本店ビル前にて年に2回程度の献血活動を実施しています。2018年から始め、全5回の実施でのべ162名が参加しました。社員のみなならず近隣の方にも参加いただいています。今後も継続的に実施し、輸血を必要とする方々へ貢献します。

## 通年ノーネクタイの実施

夏季に限定して「クールビズ」を実施していましたが、2020年度から「通年ノーネクタイ」を実施しています。ネクタイを着用しないことで体感温度が2℃下がるため、省エネルギーおよび地球温暖化への配慮に繋がります。また、ネクタイによる締め付けがないことが、作業効率を上げ働きやすい環境づくりにも役立ちます。

## 寄付の取り組み

当社では社会や地域貢献を目的として「文化・スポーツ」「地域社会」「感染症対策」に寄付を行っています。

## 技術フェアへの出展

2020年度もさまざまな展示会に出展を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により8件ほど開催中止となってしまい、オンラインのみの開催となった展示会も含め、出展は5件となりました。

5月に大阪で開催予定だった「インフラメンテナンス国民会議近畿フォーラム2020」は8月に感染症対策を万全にした上で開催され、来場者数は約5,800人でした。施工性改善型アスファルト合材「LEAB」や常温補修材（マイルドパッチ、スマートパッチ、MDシール）を展示しました。

10月に名古屋で開催された「建設技術フェア2020 in中部」では、常温施工型流動性アスファルト合材「ライトガード」や常温補修材（マイルドパッチ、スマートパッチ、MDシール）を展示しました。例年に近い約13,000人が来場され、多くの方々に展示を見ていただき、盛況でした。「マイルドパッチ」の認知度は高く、クラック注入材「MDシール」についても新たに関心を示していただけました。

10月に開催された「建設技術展2020近畿」では、アスファルト合材でありながら半たわみ性舗装並みの耐

油性、耐流動性を有する高耐久混合物で長寿命化を目指した「ベアミックス」をメインとして、常温補修材（マイルドパッチ、スマートパッチ、MDシール）も併せて展示し、来場者数は約13,600人でした。

「長岡京市環境フェア2020」は例年とは違いオンラインのみの開催となりましたが、全天候型高耐久常温アスファルト合材「マイルドパッチ」の紹介動画をWEB掲載しました。

2月に池袋のサンシャインシティ展示ホールで開催予定だった「建設技術展2020関東」には、初めての出展予定でしたが、オンラインのみの開催となってしまいました。ここでは、舗装修繕の情報化施工技術「かんたんマシンガイダンス」や3次元点群データのリアルタイム処理「建機搭載型出来形管理システム」を出展しました。直接来場者の声を聞くことはできませんでしたが、オンラインブースへの訪問者は286名、資料のダウンロードは約50件ありました。

2021年度の技術フェアも引き続き展示方法や資料を充実させ、当社の技術をPRしていきたいと考えています。



インフラメンテナンス国民会議 近畿フォーラム2020



建設技術フェア2020 in中部



建設技術展2020近畿

## 2020年度技術フェア出展実績

展示会名称	開催日程	開催場所
インフラメンテナンス国民会議 近畿フォーラム2020	5月21日・22日 → 延期8月6日・7日	花博記念公園鶴見緑地ハナミズキホール (大阪府)
建設技術フェア2020 in中部	10月14日・15日	吹上ホール (愛知県)
建設技術展2020近畿	10月21日・22日	マイドームおおさか (大阪府)
長岡京市環境フェア2020 オンエア	10月31日	オンライン
建設技術展2020関東	2月16日~3月31日	オンライン

# 従業員の活躍を支えるために

関連する SDGs



## ワークライフバランスへの取り組み

### 労働時間短縮への取り組み

2014年から導入している労働時間管理システムで、管理者が従業員の労働時間管理を行っています。従業員の時間外労働の申請に管理者の承認がされない場合は、強制的にPCがシャットダウンするシステムを導入し、労働時間短縮の意識を高めています。事業所単位では、毎週水曜日を「早く上がろうデー」とし、日本建設業連合会や日本道路建設業協会などが取り組んでいる週休2日を目指した「土曜閉所運動」にも労使で参加しています。また、毎月実施している「労働時間等設定改善委員会」では、長時間労働・36協定・年間休日・産業医の受診・振替休日取得・直行直帰・有給休暇取得などのデータを確認し、各事業所のフォローをしています。

2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、内勤を中心とした在宅勤務を実施する中で、社内システムが使用できるモバイルPCとスマートフォンを全社員に配布することを決定し、年度内にほぼすべての社員への配布が完了しました。これにより、社内の会議や研修をWEBで実施することが可能になり、現場でも随時打ち合わせが可能となるため、2021年度に向けてモバイルPC・スマートフォンを活用してさらなる時短の推進を行っていきます。

### 労使協議の制度

当社には、労働組合があり、従業員の過半数を上回る1,794名の組合員が加入しています。

年2回の定期的な団体交渉に加え、組合側からの個別事案が発生した場合は、労使協議を受け入れ、労働条件・労働環境を含む制度やさまざまな事案についての協議を行い、労使一体となった取り組みを実施しています。

### 給与改定・正社員への移行

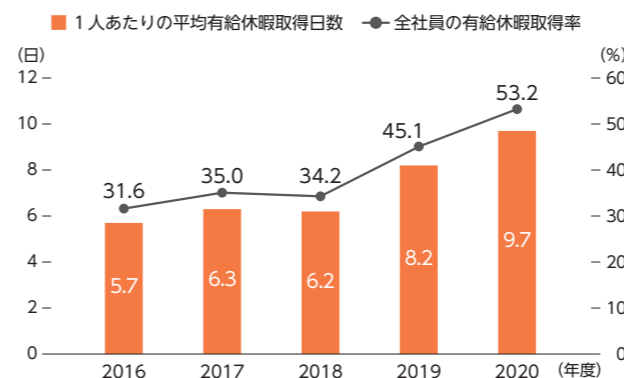
2019年度から施行された「働き方改革関連法」に基づき、長時間労働を解消するため、時短を推進しても従来の年収維持ができるよう給与設定（ベースアップ）を行い、制度面から時短推進をサポートしています。2021年度も多様な働き方に対応するためのベースアップを検討しています。

また、非正規社員と正社員の格差是正を目指し、当社のそれぞれの職務レベルに達している人材については、積極的に派遣社員から正社員へ、一般職から総合職へと職群転換を行い、社員のモチベーションアップへ繋がっています。

### 年次有給休暇取得の促進（計画的付与日の設定）

「働き方改革関連法」により、10日以上年次有給休暇が付与されるすべての労働者に対し、5日間の年次有給休暇を取得させることが義務付けられました。年次有給休暇の取得状況は、「労働時間等設定改善委員会」にて管理し、休暇取得の促進をしています。有給休暇の取得状況は、年々増加傾向にありましたが、2018年度まで5日以上取得できていない社員が存在していました。そこで、2019年度からは、法改正に対応するために同委員会において「年5日の計画的付与日」を定め、労使協定を締結しました。2020年度もすべての社員が年5日以上有給休暇を取得することができました。

### 有給休暇の取得状況の推移



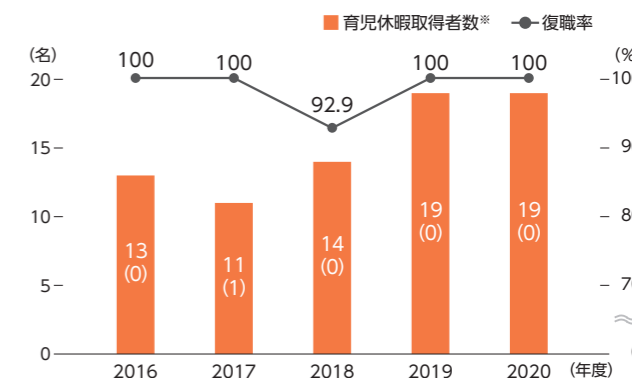
### 休暇制度の整備

従業員が安心して仕事と家庭を両立できるよう、下表のほかにもさまざまな休暇制度を整備しています。2021年度に向けて、働きやすい環境を構築するための制度の見直しなど、多様化する働き方に対応していきます。

#### 休暇制度

	内容
出産時休暇	配偶者の出産前後20日取得可能。
育児休暇	最長で子が2歳に達するまで取得可能。復職後も3歳になるまで6時間（時短）勤務が可能。
介護休暇	当該家族が1人の場合は年5日、2人以上の場合は年10日まで取得可能。
子の看護休暇	負傷、疾病にかかった当該子の世話をするため、もしくは当該子に予防接種を受けさせるために取得可能。 ※小学校就学の始期に達する子を養育する社員対象 ※日数は、介護休暇同様

### 育児休暇取得者数と復職率の推移



※（ ）内は男性

### 多子扶養手当の改定

2005年から支給されている多子扶養手当は、第3子以降が対象でしたが、2019年に規程改定を行い第2子からへ拡充しました。これは、少子高齢化が進む中で、多子家庭における子育てを経済的に支援するために、出生から満18歳に達する年度末まで、第3子以降の子供1人につき月額25,000円（満額支給額540万円）の支給をしていましたが、2019年の改定により第2子から月額10,000円（満額支給額216万円）の支給も追加されました。

2020年度の支給対象者は530名で全従業員の約20%、そのうち、第2子への追加支給対象者は334名で全従業員の約13%になりました。

#### 2020年度多子扶養手当の支給実績

	多子扶養手当支給額
第2子	57,370,000円
第3子	59,900,000円
第4子	5,325,000円
第5子	600,000円
総額	123,195,000円 (対象者538名)

#### VOICE

#### モバイルPC・スマートフォンを活用した時短推進

今回配布されたモバイルPCとスマートフォンの連動性や機能の使いやすさは、時短にも有効活用できます。現場での空いた時間を利用して現場や車内で手軽に使え、時間を無駄にしない当社の社員にとって画期的なツールです。お客様からのメールに対してタイムリーな確認と迅速なレスポンスが可能で、相手に好印象を与えられます。また、事務所に戻らず現場から直帰しても日報作成、見積作成が可能であり時間ロスが大きく軽減できるため、すべての社員にこの便利さを実感してほしいです。見積作成業務であればテレワークが可能です。仮に通勤に片道1時間かかる場合2時間の時短となります。課題は、紙での出力が必要な書類が多いこと、押印が必要なことです。この課題をクリアすれば、新たな働き方に挑戦することができます。WEB会議などのITツールを有効活用して、時短推進に繋がると期待しています。



東京支店 品川営業所  
松下 聡

#### VOICE

#### 育児休暇より復帰して「仕事と家庭の両立」

私は2回育児休暇を取得し、どちらも子供が0歳の時に復職しました。仕事をする事で、子供と離れている時間があるからこそ、子供と過ごす何気ない日常をより一層大切にできていると思います。一方で、早く復職したために子供の急な発熱などによる早退や欠勤が頻繁にあり、思うように仕事ができず、もどかしい気持ちになることもあります。周りの方々に助けをいただきながら私なりに仕事と家庭を両立させています。最近では、子の看護休暇が1時間単位で取得できるようになるなど、子育てしながらも働きやすい制度が充実してきました。これからも仕事と家庭のメリハリを大事にし、限られた時間の中で効率的に働けるように精進します。



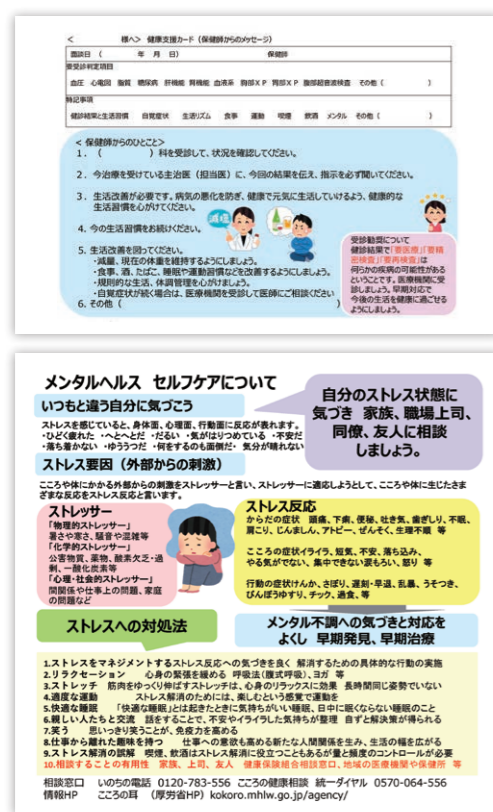
本店 技術研究所 技術課  
平野 麻衣子

# 従業員の活躍を支えるために

## 健康経営

### 保健師面談・ストレスチェックの実施

2020年度の保健師面談は、本店および11支店の年間計画を作成して本店で契約している4名の保健師に巡回を依頼し、直近の健康診断をもとに面談を行い、心と体のケアを含め指導や助言を頂いています。実施率は100%です。



健康支援カード

また、長時間労働を行った社員に対する保健師面談や定期健康診断については、本店・各支店の担当者が本人のスケジュールをもとに病院と連絡を取り受診日程を決定しています。そのほかに、本店を中心にWEBでのストレスチェックを実施し、結果を確認してもらい個人の健康管理に役立ててもらっています。

### 共済会制度

当社の共済会制度は、相互扶助の精神に基づき、会員とその家族の福利増進および福祉向上を目的として、傷病関係給付・休職補償金給付・遺児育英年金給付・災害見舞金給付・疾病見舞金給付などの事業を行っています。会員は会社の従業員で、雇用執行役員・総合職社員・一般職社員・勤務地限定一般職社員・ブロック社員で構成されています。この共済会の給付制度での一番の魅力は、医療附加金の給付です。健康保険の適用を受けた会員および家族の、傷病による医療費の自己負担が1か月に20,000円を超えた場合、超えた金額を給付します。

### インフルエンザ補助金支給規定

従業員がインフルエンザ予防接種を受ける場合の費用を支給する制度です。2018年10月から導入しました。本人の健康のみならず、一緒に働く同僚やその家族の疾病予後に繋げ、会社の正常な事業活動の維持を図ることが目的です。2020年度は、6割以上の従業員が本補助金を利用しました。

### 共済会制度

		内容
傷病関係給付	医療附加金	月20,000円を超える個人負担した医療費の支給
	差額ベッド補助金	1日につき5,000円を限度、年間30日を限度として支給
	付添看護補助金	1日につき2,000円を限度、年間30日を限度として支給
	ホームヘルプ補助金	1日につき2,000円を限度、年間30日を限度として支給
休職補償金	1日につき3,300円、月額100,000円	
遺児育英年金	第1子30,000円、第2子20,000円、その他子女10,000円 義務教育を受けていて満18歳に達した学年の終了する月まで支給(月額)	
災害見舞金	天災・火災など不慮の災害により家屋が罹災したとき 全壊あるいはこれに準ずるもの 200,000円 半壊あるいはこれに準ずるもの 100,000円 一部損壊あるいはこれに準ずるもの 50,000円	
廃疾見舞金	会員本人が災害等級1〜3級に該当した場合 200,000円を支給	

## 人材育成

### レベルアップ研修・実務研修の実施

2020年度のレベルアップ研修および実務研修は、新任の所長・工場長研修、受講者訓練の強化など、新たな研修方法を取り入れ、研修センター専属担当者も配置し、集合研修強化を計画しました。また、「新人」「中堅」「管理職」の階層別研修において、各分野でのレベルアップおよび実務に活かせる研修を実施するために、社員一人ひとりが業務を通じて能力を発揮できるように外部講師を招いた研修も計画しましたが、新型コロナウイルスの影響により、ほぼすべての集合研修が中止となりました。



新入社員研修



統括安全衛生責任者特別教育

した。唯一実施した集合研修は、「新入社員研修」と「統括安全衛生責任者特別教育」となりました。

2021年度は、WEB研修も併用しながら人材育成に努めています。

### フィードバックの実施

当社の評価制度には、行動評価と業績評価があり、行動評価は年1回、業績評価は半期ごとに2回の評価をしています。

評価者は、事前に目標設定を行い、業績評価の結果を含め、年2回のフィードバックを全社員が受けています。

### 2020年度研修計画/実績

研修名	主催部門	計画			実績		
		受講者数(名)	日数(日)	総時間(時間)	受講者数(名)	日数(日)	総時間(時間)
新入社員研修(全体)	人事部	70	40	22,400	69	5	2,760
2年生フォローアップ研修	人事部	65	3	1,560	0	0	0
チューター研修	人事部	36	3	864	0	0	0
所長・工場長実務研修	人事部	30	3	720	0	0	0
新任所長・工場長研修	人事部	20	3	480	0	0	0
事務職新人研修	管理本部	14	40	4,480	14	5	560
事務職研修(課長・係長・係長前)	管理本部	30	3	720	0	0	0
安全環境品質部課長研修	安環品部	20	2	320	0	0	0
統括安全衛生責任者特別教育	安環品部	25	2	400	11	2	176
土木職新人研修	工務部	39	180	56,160	39	150	46,800
土木3〜5年生研修	工務部	20	3	480	0	0	0
土木課長・係長研修	工務部	20	3	480	0	0	0
営業所長研修	工務部	20	3	480	0	0	0
技術提案担当者研修	工務部	15	3	360	0	0	0
積算担当者研修	工務部	20	3	480	0	0	0
官庁工事担当者研修	工務部	20	3	480	0	0	0
工場長研修	製品部	20	3	480	0	0	0
工場長研修(経験5年未満)	製品部	20	3	480	0	0	0
工場長前研修	製品部	20	3	480	0	0	0
レベルアップ研修	製品部	20	3	480	0	0	0
試験職新人研修	製技部	12	180	17,280	11	155	13,640
品質管理担当者研修①②	製技部	30	3	720	0	0	0
機械職新人研修	機材部	5	180	7,200	5	155	6,200
機械担当者研修	機材部	20	3	480	0	0	0
機械課長・係長研修	機材部	15	3	360	0	0	0
情報化施工担当者研修	機材部	10	4	320	0	0	0
機械職施工技術向上研修	機材部	5	5	200	0	0	0
工事営業担当者研修①②	営業部	40	3	960	0	0	0
合計		681	690	120,304	149	472	70,136

# 従業員の活躍を支えるために

## 人材育成

### 建設キャリアアップシステム (CCUS) の推進

当社で推進している建設キャリアアップシステム (以下CCUS) は、技能者一人ひとりの就業実績や資格を登録し、技能者の公正な評価、工事の品質向上、現場作業の効率化などを目的としたシステムです。

当社では元請工事、下請工事などさまざまな請負形態がある中、施工にあたり多くの技能者が関わっており、CCUSについて説明し、より多くの技能者に登録してもらえるよう取り組んでいます。未登録の技能者については、登録のサポートも行っています。

CCUSを活用し、技能者の経験と能力を適正に評価することで処遇の改善を図り、建設業の担い手を確保しています。

### 長期新入社員研修の実施

2018年度から始めた新入社員の長期研修は3年目を迎え、技術職(土木・試験・機械)を1年間、事務職を2ヵ月間とし、4～5月に全職種共通の研修を計画をしましたが、新型コロナウイルスの影響により4～5月は自宅待機となり、自宅で課題を実施し提出するように変更しました。

6月上旬より職種別に研修センターに集合して研修を開始し、事務職については、1週間の研修後、全国の本支店へ配属をしました。技術職は、6月から職種別に分かれて座学や実務研修を実施し、8月下旬より研修の一貫として開始される現場への仮配属を「土木職」は約2ヵ月間、「試験職」は1ヵ月半ほど経験しました。10月以降は、仮配属での実務を活かした研修カリキュラムを実施して「小型移動式クレーン講習」「玉掛け講習」「大型特殊免許」「車両系建設機械」などの資格取得を行い、3月に現場への本配属をしました。

2020年度の新入社員研修は新型コロナウイルスの影響により自宅待機や研修人数などの制限がされ、当初の計画通りには進みませんでした。2021年度の研修は、モバイルPCとスマートフォンの配布により、WEBでの対応を行い、計画された研修への影響が最小限になるよう準備をしています。

響により自宅待機や研修人数などの制限がされ、当初の計画通りには進みませんでした。2021年度の研修は、モバイルPCとスマートフォンの配布により、WEBでの対応を行い、計画された研修への影響が最小限になるよう準備をしています。



新入社員研修



新入社員研修



朝のラジオ体操



新入社員技術職ローラ講習

### 人権に関わる研修について

2020年度の研修では、ほぼすべての研修において人権に関わる研修を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により研修が中止され、「新入社員研修」「統括安全衛生責任者特別教育」のほか、本店での特別研修にて実施されました。2021年度は、各種集合研修で人権に関わる研修を準備しています。

## 多様な人材の活躍推進

### 定年後再雇用の取り組み

長年培った知識や経験、技術などの技能継承を目的に、定年を迎えた社員を嘱託として再雇用しており、例年9割以上の社員が再雇用を選択し全国で活躍をしています。待遇改善として2018年度には、再雇用による雇用延長制度について見直しを行い、賃金改定が行われました。成果が適正に反映される仕組みを導入し、後進指導だけでなく現役時代同様に戦力として能力を発揮できる環境となりました。

また、これまでは「満60歳誕生日の属する月の末日」が退職日だったものを、2019年度より「満60歳誕生日の属する年度の末日(3月31日)」へ変更し、継続性のある人材配置が可能となりました。これからも、再雇用や定年退職の年齢の引き上げも検討課題として、時代の変化に対応しながら人材の確保と技術の継承を進めます。

### 奨学金返還支援制度

2017年度に新設された奨学金返還支援制度が2018年4月に入社した総合職新卒社員より適用され、初年度は26名、2019年度は39名、2020年度は53名が対象となりました。

#### 奨学金返還支援の状況

支給年度	対象者数	支援金支給額
2018年度	26名	3,120,000円
2019年度	39名	4,680,000円
2020年度	53名	6,360,000円

### 海外奨学金制度

2016年にグローバルな人材確保を目的に、フィリピン共和国のマプア大学への奨学金制度を設立し、毎年1～2名の奨学生を受け入れ、5年間で9名の受け入れを予定しています。

2018年の6月には2名の学生との調印式を行い、2019年には1名の学生を受け入れることを決定しました。

1名あたりの奨学金は、月8万円を2年間(192万円※)とし、2020年までに9名の奨学生を受け入れることが決定しているため、総額で1,728万円の奨学金を拠出します。

※入社後、その半額を3～5年かけて返還します。

#### マプア大学奨学生受入実績の推移

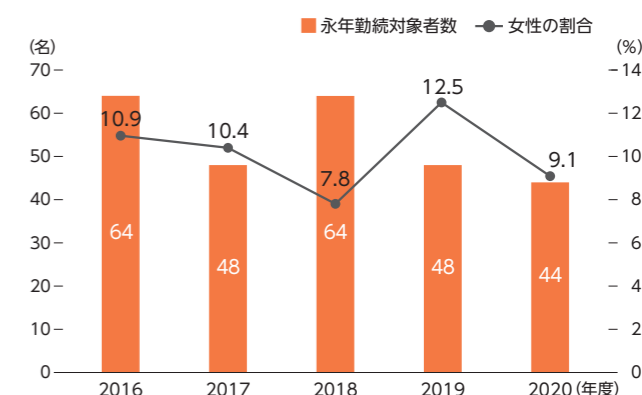
2016年調印	2017年調印	2018年調印	2019年調印	2020年調印
2名 (2018年4月)	2名 (2019年10月)	2名 (2021年度予定)	1名 (2022年度予定)	2名 (2023年度予定)

※( )内は入社年月

### 永年勤続表彰(リフレッシュ休暇の付与)

毎年5月に行われる社内表彰式において勤続満25年に達した社員に対し、報奨金および10日間のリフレッシュ休暇を付与しています。永年勤務した社員を慰労するとともに、健康増進および心身の活性化を促進することを目的としています。

#### 永年勤続対象者数の推移



### インターンシップの受け入れ

2020年度も技術研究所、合材工場、営業所に大学・高専・専門学校・高校生のインターンシップ受け入れを計画していましたが、新型コロナウイルスの影響により現地で開催されるすべてのインターンシップの開催を断念しました。

その代わりに、7月より会社説明を含めたWEBでの1日仕事体験(1DAYインターンシップ)を実施して8月から月2～4回開催し、156名の学生が参加しました。

2021年度は、技術研究所(研修センター)でのインターンシップを中心に開催を予定し、緊急事態宣言などに対応した1日仕事体験(1DAYインターンシップ)も積極的に開催できるように準備をしています。

また、大学や学生への要望に応えられるように、各現場単位でのインターンシップにも対応をしていきます。

#### VOICE

#### 長期新入社員研修を終えて

研修で一番印象に残っているのは2ヵ月間の仮配属です。ある程度の仕事を任せてもらえたことで業務を知るだけでなく、自分の現状の力や今後の課題が明確にわかりました。研修終盤には、グループに分かれ見積から施工までの段取りを自分たちで考える実習を行いました。自分たちで段取りを考えるので上手いかないことは多々ありましたが、研修を通して身に付いたことや今後の課題が明確となった実習でした。この研修を通して、業務に対する知識だけでなく、同期との共同生活で連絡や相談できる信頼関係を築けました。今後も迷った時は同期や先輩方に相談し乗り越えていこうと思います。



中国支店 岩国営業所  
藤本 祥吾



## 会社概要 (2021年3月31日現在)

### 事業概要

社名	前田道路株式会社
本店所在地	東京都品川区大崎1丁目11番3号
設立年月日	1930年(昭和5年)7月19日
資本金	193億5,083万円
決算期	毎年3月31日
株式市場	東証第一部
従業員数	2,301名
建設業許可	国土交通大臣許可(特-29)第2313号
主要な事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 土木建築工事の請負、設計ならびに監督</li> <li>2. 土木建築工事の諸材料の製作ならびに販売</li> <li>3. 産業廃棄物の処理およびその再生製品の販売ならびに土壌浄化</li> </ol>



本店社屋

### 全国の事業所

支店	北海道・東北・北関東・東京・西関東・中部・関西・中国・九州・北陸・四国
その他	技術研究所
営業所	112カ所
合材工場	96カ所
破砕工場	93カ所
乳剤工場	9カ所
製品販売所	5カ所



富士合材工場(静岡県)



足立営業所(東京都)

さくらの社ショッピングセンター(茨城県)



## 第三者意見

赤羽 真紀子  
 CSRアジア 日本代表。NPO法人 国際協力NGOセンター(JANIC)の「NGOと企業の連携推進ネットワーク」のアドバイザーも務める。公益財団法人日本サッカー協会 社会貢献委員会アドバイザー、NPO法人 ウォーターエイド・ジャパン理事を歴任。



2018年からお受けしている第三者意見は今回で四回目となります。定点観測のように過去4年間のCSR報告書やサステナビリティレポートを拝見していることとなります。毎年着実に改良が積み重ねてられていますが、特に今年度版は飛躍的に進化しています。内容の詳しさや項目の網羅性などが格段に向上しています。前田道路は2030年の創立百周年に向けた重点施策「体質改善」「生産性改革」「新たな収益基盤の確立」に「環境」「社会」「経済」を統合させていくという決意表明をされています。今年度版の当レポートの成長ぶりは、トップメッセージにあるように、社会的責任を果たしながら「予測不可能な時代を切り開き、より良い社会の構築を目指す」という覚悟をよく表しているものと評価いたします。

本業を通じたサステナビリティ(持続可能性)の実現に関して、特に気候変動への対応に注力されています。温室効果ガスの削減については、アスファルト合材の製造時に排出される二酸化炭素排出量が全体の75%も占めているため、フォームアスファルト技術によって環境負荷低減を図ろうと継続的に努力されています。このフォームアスファルト技術は、使用燃料の削減や二酸化炭素排出の抑制などが可能となるため、前田道路の本業を通じた環境対応の真骨頂と言えます。2020年度は新たに5工場増え、合計37工場に導入されたということです。今後も引き続きこの技術の積極的な推進を期待いたします。

道路という社会の主要なインフラをつくるという社会的使命が本業であり、中長期的なメンテナンスも重要であ

る前田道路は、ICT化にも積極的に取り組んでおられます。高齢化と労働力減少という日本が直面する社会課題にも対応すべく、産官学プロジェクト「建機搭載型出来形管理システム」を開発され、国土交通省の「令和2年度i-Construction大賞」で優秀賞を受賞されました。クラウドサーバーを通じて計測結果を共有できるため、舗装工事の中間工程の仕上がりの形状などを発注者が現地に行かなくても遠隔臨場が可能だといえます。現在はコロナ禍でもあるため、リモートによるオペレーションは今後ますます重要になるでしょう。今後もこのようなICTを活用した画期的な技術を、社会のニーズに応える形で広く展開されることを期待いたします。

前田道路では、社会課題を本業を通じて解決していくために、技術革新を着実に進められておられます。このような高いイノベーション力は、日本のみならず、世界中の社会課題の解決にも資するものと思います。途上国にいくと、歩道も車道もでこぼこな道路であったり、水はけがわるかったり、バリアフリーどころか、安心安全な通行もままならない所がたくさんあります。前田道路がもつ、この高い技術力が、将来的にもっと世界中に広がれば、経営理念の「ひろく社会資本の整備に貢献し、地域社会の豊かな生活の向上に寄与」することにつながると思います。

CSRアジア 日本代表  
 赤羽 真紀子

### 編集後記

赤羽様から貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。継続的にご意見を承り、当社のCSR活動について常に見直し改善してきたことにより、一定の評価をいただけたものと感謝しております。

今後の活動として2030年の創立100周年に向け、当社ではステークホルダーの皆様と共に持続的な成長を遂げるための中期経営計画「HOP2021-2023」に基づき中期CSR・環境計画書を策定し、サステナブルな社会(より良い社会)の構築を推進することとしました。(本レポートに実施事項を掲載いたしました。)

特に気候変動への対応として、本年4月に「気候変動イニシアティブ」へ参加し、昨年度までに掲げていたCO<sub>2</sub>削減目標を大幅に見直し、2030年には2013年度比-50%、2050年にはカーボンニュートラルを目指してまいります。

環境課題にとどまらず、ESG「Environment(環境)」「Social(社会)」「Governance(ガバナンス)」への取り組みにも目を向けて、企業における経済的な価値創出だけでなく、社会と共有の価値を創造していくことを進めてまいります。

最後になりますが、本レポートの発行にあたり、ご協力いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

お問い合わせ  
 前田道路株式会社  
 CSR・環境部  
 〒141-8665  
 東京都品川区大崎1丁目11番3号  
 TEL: 03-5487-0032  
 FAX: 03-5487-0038

【発行】  
 2021年9月  
 (次回発行予定2022年9月)